京城日報

十三日夕刊

定價 本紙一部金三錢 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月分前金壹圓六拾錢 六ヶ月分前金三圓 一ヶ年分前金六圓 郵税一ヶ月分前金十五錢

廣告料 ▲五號活字一行金八拾錢 ▲二號活字一行金壹圓六拾錢 六號活字二十一字詰

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 營業部

遣米特使は石井子と決定

十三日親任式御擧行＝竹下海軍中將、菅野陸軍少將隨行

既電の如く重要なる使命を帯びて米國に派遣さるべき特命全權大使は前外相子爵石井菊次郎氏に決定し十三日宮中御座所に於て親任式を擧行せらるべく同時に隨員として海軍中將竹下勇、陸軍少將菅野尙一の兩氏任命さるべし而して外務省より別に外交官三名陸海兩省より副官一名宛隨行するを以て結局一行總て八名となる譯なり(東京特電)

特命大使派遣事情

共同作戰上隔意なき協議を遂る爲め

米國の對獨宣戰以來英國はバルフォア氏ノースクリフ卿兩氏を派遣し佛國はヴィヴィアニ氏ジョッフル元帥を派遣し共に協同作戰の實行方法に關し米國と協議する所あり米國の聯合國に對する財政援助陸軍の派遣海軍の活動等皆其の結果として實現し來れり我が帝國政府も亦其の當時より特派大使を米國に送り聯合國の一員として協同作戰を爲す上に隔意なき協議を遂げしめんとの議あり其の結果十二日勅令を以て臨時大公使設置の件を公布せられ陸海軍よりも其の一行に加はり軍事上軍器に關する協定をも爲す筈なり勿論此の大使派遣は米國の對支警告より生ずる日米問題とは何等の關係なし(東京特電)

支那の形勢

▲總統解散を決行せん

王士珍氏を總理代理として

黎總統は伍廷芳氏の國務總理代理を免じ王士珍氏を其の後任となし王氏の副署にて國會解散命令を出す事とせり(北京特電)

▲張勳の討督軍要求

張勳氏は黎總統が其の要求を容れたるに對し(一)軍隊を撤退する事(二)獨立を取消す事(三)中央に謝罪する事の三條件を各督軍に求むべし(北京特電)

▲叛亂督軍討伐決定

雲南軍十個大隊進發せん

廣東來電＝督軍衙門に軍事會議を開き叛亂督軍側に對し討伐隊を編成派遣するの問題を協議せる結果道を陝西、湖北、福建の三方面にとりて進軍せしむる事に議決したり在廣東、雲南軍司令官は雲南軍中より十個大隊を選拔して陝西を攻擊し猶一名の司令官は部下の十個大隊を帥ゐて福建を攻擊すべく進軍を命ぜられたりと(香港特電)

▲民黨議員續々引揚

民黨議員は國會解散の期切迫せりと信じ續々北京を引揚げ僅かに吳景濂氏等の少數議員在京するに過ぎずと(漢口電報)

新露國は飽迄戰はん

クロポトキン將軍宣言

露國東部戰線司令官クロポトキン將軍は宣言して曰く舊露國は平和を欲したり新露國は眞正の平和を贏ち得る迄飽くまでも戰ふべしと(露都電報)

露國財政救濟策

一財政家の警告

露國の一財政家は「露國の財政的破産」と題して現今一箇月二十五億に達する總ての經費を支拂ひ新舊公債の利子十億の財源を求めんとするも(一)租稅及び關稅收入の減(二)官營事業の損失莫大なる(三)內外債募集の困難にして(四)又新たに紙幣を發行の不可能なる理由を詳述し此難局を救ふ可き唯一の方法は(一)非償金非募債主義を打破し(二)社會主義を禁止し(三)現時の無政府狀態より覺醒し各國の信用を繫ぐの一途あるのみと警告せり(哈爾賓特電)

航空費五億弗要求

華盛頓政府は航空費五億弗支出を要求し更に本年末には十億弗を要求すべく計畫中なり(紐育電報)

○成田少將通過 來鮮中なりし成田少將は十二日夜解纜の新羅丸にて東上せり(釜山特電)

○原田朝郵社長 朝鮮郵船會社々長原田金之祐氏は十三日午前十時三十分發列車にて京城に向へり(釜山特電)

○杉山東亞重役 東亞煙草會社重役杉山孝平氏は十二日午後七時發列車にて釜山に同夜出港關釜連絡船新羅丸にて東上の途に就けり(釜山特電)

◎政務總監張宴 山縣政務總監は十二日午後七時より入京中なる小松綠氏を朝鮮ホテルに招待晩餐會を開けり總督府側よりは各部長官、局長、古海警務總長、齋藤副官、遠藤秘書官等列席したり

◎高等委員會の裁決文 從來一般の土地査定不服申告に對する高等土地調査委員會の裁決全文は總督府官報及び道報等に掲載しあたるが今回都合により府令を改正の結果其の全文の登載を行はざる事となり唯項目のみを掲示する事となれり尤も其の利害關係者に對しては裁決文謄本の通牒を發する事となり居り又裁決の結果を閲覽したき希望を有する者には高等土地調査委員會若くば當該府郡島に出頭すれば無料にて直ちに其の閲覽の求めに應ずべしと

◎辭令 十三日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府判事 田所次男
陸叙高等官三等
補高等法院判事
三級俸下賜
退職を命ず

光州地方法院井邑支廳判事 大友歌次
補光州地方法院全州支廳判事

大邱覆審法院判事 八橋容
四級俸下賜
補光州地方法院井邑支廳判事
豫審掛を命ず

總督府道慈惠醫院醫官 富樫倉之亟
任總督府道慈惠醫院長
敘高等官六等
六級俸下賜
全羅北道全州慈惠醫院在勤を命ず 吉野武雄

總督府屬 寺島利久
任總督府道慈惠醫院醫官
敘高等官七等五級俸下賜
平安北道義州慈惠醫院在勤を命ず

任總督府々事務官
敘高等官七等 五級俸下賜
釜山府在勤を命ず

◎司獄會計會同(第二日) 裁判所及び監獄會計主任會同第二日は十三日午前九時より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く直に日程に入り午前は諮問午後は質疑及び打合せありて四時閉會したり

□李王御著公電 李王殿下には至極御機嫌麗しく海陸共些の御支障なく豫定の通り十二日午後五時御著京の旨國分李王職長官より山縣政務總監に電報ありたり

◎副官會議第二日 副官會議第二日は十三日午前八時半憲兵隊司令部樓上に開催午前高等官食堂に於て古海總長統裁の下に開催午前諮問事項正午休憩の後午後一時再開午前に引續き總長より諮問あり同四時散會せり

◎府郡書記講習會 臨時土地調査局にては朝鮮全道の府郡島書記六十餘名を召集し土地調査及び測量講習會を來る十八日より約一箇月間開會する由なるが講習會の主要目的は異動地整理取扱上の心得にて講師は總督府及び調査局員之れに當るべしと

◇北京の田中參謀次長◇◇ 南支那の視察を終へ風雲混沌たる北京に來著せる田中參謀次長は日々要路大官と訪問し居れるが支那側は之れを機として迎賓館に於て盛んなる歡迎會を催せり寫眞は其記念撮影にして前列向つて右より(一)段祺瑞中將(二)靑木中將(三)國務總理伍廷芳(四)林公使(五)田中參謀次長×印(六)侍從武官蔭昌(七)公使館附齋藤陸軍少將(八)芳澤參事官(九)公使館附伊集院海軍大佐等にして其他は日支兩國の文武官なり

◎秋山大將動靜 目下南鮮部隊檢閲の途に在る軍司令官秋山大將參謀松井少佐副官古城大尉等の一行は十二日大田部隊の檢閲を了り十三日公州守備の檢閲をなし直ちに全州に向ひ十四日全州守備隊の檢閲をなす筈

◎鈴木長官出發 鈴木度支部長官は既記の如く十三日午前八時三十分南大門驛發汽車にて島山陽を隨へ東上の途に就けり

◎森安東領事入京期 南米秘露里馬領事より安東領事に轉任を命ぜられし森安三郎氏は來る廿一日頃入京一兩日滯在の上任地に赴くべき旨同氏の知友某氏に通報ありたり

◎美濃部總裁歸期 臨時株主總會列席並に行務を帯び東上中の美濃部鮮銀總裁は會期秘書役帶同來る二十日頃迄に歸京する旨某所に消息ありたり

□湖南線車中より

十一日午後 三笑生

○光州に於ける用務も、略ば落著致候間、本日午後十二時三十分光州發の自動車にて光州と分袂し、一氣に光松街道を突破して、只今湖南線列車に身を托し、木浦に向け進行中に候。木浦は、今より十四五年前、船上より瞥見したることとあるも、親しく其地を踏みし事なく、今回、來光の序を以て、一見致度、此行を敢てしたる次第に候。

○光州松汀里間にて、坦々砥の如き道路開通せられ、自動車と馬車にて旅客の便を圖り居り候得共、未だ交通機關の完成せりとは謂ひ難く、目下在光有志間には、輕便鐵道の必要を感じ、之が敷設計畫に付、講究中の由聞知致候。一部人士の內には光州は、北東南の何れも、山岳重疊して、假令輕便鐵道を敷設するも、工事其他經費の關係上、光州以東に延長の見込なく、若し延長し得ざらんか、輕便鐵道の如きは經濟上何等の價値なきもの、寧ろ馬車鐵道の如き簡單なるものこそ、適當なりと論ずる者も有之候。其何れを可とするかは、專門家の調査と講究を要する所なるべしと雖も、何れも同樣にして、光州の發展上、缺ぐべからざる必要を感ずるは、此和の計畫の問題たるべく、一日も早く之が實現を希望致居候。

○光州には、電燈と水道の施設なく全南の大都市として、何となく物足らぬ感致居り候處大邱の小倉某氏に依りて提唱せられ、在光有志之に力を協せ、株式組織にて、電氣會社成立し、工事も著々進行して來る七月一日には、點燈の運に至る見込なるやに聞知致候。尙ほ水道も、目下其の水源地調査中にして、早晩工事に著手すべく、光州人士は、首を長くして其完成の日を待居り、光州も面目一新可致候。

○此行は、日曜日を利用したると、歸京を急ぎ候爲め、親しく有志家を叩いて、其高見を徵するの時間に乏しく、充分の視察を爲す能はず、彼の有名なる奧村五百子女史の遺跡をも一訪問するを得ざりしは、誠に遺憾に存じ候。聞く處に依れば、目下東本願寺の布敎所と成れるも、半ば傾ける朝鮮家屋に、淋しく佛像を安置せるのみ、何等の光彩を放たざる由、西本願寺と曹洞宗とが、伽藍を新築し、特に曹洞宗の河野武翁和尙が生きた人間の濟度が大事なりとて、網代笠に錫杖姿を、時々市中に顯はし實踐躬行の範を示し居るは聊か我佛敎の爲人意を强ふ致し候。

○何時もながら、地方を旅行して、特種の感に打たるゝは、米國宣敎師連の活動振りに候。光州にも三十二名の男女宣敎師ありて、盛に基督敎の宣傳に務め、十日夜の如きは、市街の眞中にて、盛なる讚美歌の聲を聞きたる位にて、鮮人間に偉大なる勢力を有し居り候。今後は精神的に鮮人の指導を要す、在光我宗敎家の奮起を促し度候勿々不一。

◎三島理事轉地期 大田鮮銀理事大道より來京に付三島理事は宿痾靜養の爲め十五六日頃出發京都に向ふべしと

◎原田社長歸京 日本郵船取締役會並に株主總會に列席のため東上中なりし原田朝鮮郵船社長は愈々十三日午後九時南大門驛著歸任す

◎准尉任用準備 朝鮮各聯隊大隊等にて最近下士に對し准尉採用試驗を執行しつゝあるやう報ずる者あるが右は陸軍にて今回准尉なる一階級を設くる事に內定し來る特別議會に其の經費を要求する事となり居るに付通過の上は直ちに實施さるゝ關係上豫め豫備的に試驗を行なひ置くものにて若し議會の協贊を得ざれば其の任用をなすのに非ず又目下の所准尉採用試驗と云ふを得ず准尉任用準備と云ふを當れりとすべし

◎鮮銀と廿圓券 日銀にては過般來財界の必要に應じ二十圓券發行の計畫ありと云ふが朝鮮の經濟界は尙ほ二十圓券を要するの程度に發展せず又其の必要もなきを以て鮮銀にては目下の所何等其の議なし

◎朝郵運賃引上 朝鮮郵船會社に於て貨物運賃引上の計畫あり諸種調査中なる事は既報の如きが其の事情に付聞く所によれば

▲海運界の殷賑 は日々其の度を高め傭船料の如き之れを平時に比すれば現在の相場は六倍を超ゆる狀態にあり而して修繕料の暴騰船舶保險料の增加消耗品たる石炭の値上等は何れも二倍以上を要する事となり會社の經費を增加する事甚大にて之等に基因する一年間の支出增加は正に六七十萬圓の間を往來するの實勢にあり勞々之等の支出增加を補ふには國庫補助額の增加か運賃引上か二途其の一に依るの外なし然も前者は目下の所直ちに之れを望み難しとすれば海運界現下の趨勢に應じ若干運賃の値上げを行なひ其の收入を增加して經費增加額幾分の補塡をなすの外なしと云ふにあるものゝ如く其値上は運賃標準率の引上にあり目下

▲遞信當局に認可を申請中に付其の如何に決定を見るかは明らかならざれど大凡を從來に比し遠距離、近距離を含み二割乃至四割位の引上の見當なるものゝ如く會社は右標準運賃の値上認可を得ば其の範圍內に於て更に實行運賃の定額引上をなし當局の認可を經て實施の都合となるものに付尙ほ早急には運ばざるべきかと云ふ

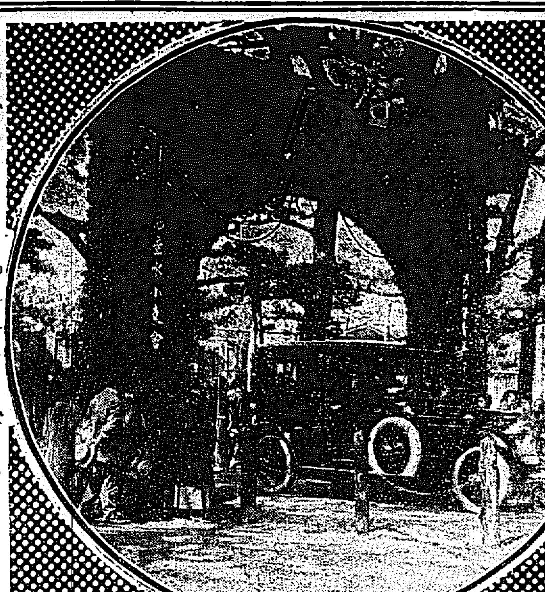
◎柳川丸の就航 朝鮮郵船株式會社にて先般黃海沈沒せし黃海丸の代船として下の關山口氏より傭船せし柳川丸(六百噸)は十三日下の關にて受渡しをなし同日より門司雄基間命令航路に就航する事となりたり

〔群山〕 ▲鰯の大漁 兩三日前群山近海吳食島附近に於て鰯の大漁ありたるが十數年來群山に居住する內地人漁夫の言に依るも曾て斯の如き鰯の大漁を知らずと然して一時に多量の水揚ありし爲持て餘したる業者は其の大部分を肥料原料と爲せるものゝ如し▲衞生講話 群山警察署に於ては昨夏惡疫流行の實例に鑑み個人衞生の喫緊なるを思ひ十一日より向ふ六日間の豫定にて同署管內各面里に亙り署員部署を定めて巡回衞生講話を爲しつゝあり▲府尹歸群●展墓の爲め東京に歸省中なりし天野府尹は十二日夕著列車にて歸群の筈なりと▲議員選擧 群山學校組合議員選擧は豫定の如く十三日午前八時より午後四時迄の間に於て群山府廳を選擧場とし總選擧執行したるが其結果は後報すべし因に選擧界は豫想の如く愈々選擧期日三四日前に切迫してより各方面の運動一入に開始せられ競爭激甚を極め居れり

〔大邱〕 ▲水害豫防區域制定 慶尙北道は管內府郡面に於ける水害防備區域を定め橋梁の流失道路の崩壞等豪雨に因る水害防備の爲め近々水害防備規定なるものを發布する筈▲島根縣視察團 島根縣實業視察團同縣參事一行は來る十四五日頃來邱し果樹生產販賣狀況を視察す可しと▲第一部長出張 慶尙北道第一部長吉松憲郎氏は十二日慶州方面に向ひ出張したり▲鮮人旅宿營業者訓示 大邱警察署に於ては十二日午前中鮮人旅宿營業者を召集し衞生上に關する訓示ありたり▲光圀寺の講演 大邱八雲町光圀寺にては十三、十四の兩日午後七時より大邱に巡遊したる宇都宮太郎氏に依る日蓮上人御一代記其他の講演をなすべしと

人事消息

▲龜井三郎氏(代議士) 十二日夜入京天眞樓へ
▲岡部彦氏(農商務省技師) 十三日朝退京
▲河野岩雄氏(東拓局參事官) 營口へ赴任の途次十二日夜入京天眞樓へ
▲進藤太郎氏(鐵務課尙州出張所技師) 十二日阻敗阜杭木兩隊に出張を命ぜらる



◆舞子に於ける李王殿下 綠門には謹迎(奉迎)と現はす (下)は在留朝鮮人女工百二十人の奉迎

斯すれば安心が出來る

畜犬に無料で豫防注射を行ふ

◇隈部京畿道警務部長談◇

狂犬病の豫防に就ては其後市內警察署憲兵分隊に於て綿密に畜犬野犬の取調を爲し野犬は見當り次第撲殺し畜犬は各飼主に於て ▽目下繫留中 であるがそれが爲め近來市上に彷徨する犬を見受くること稀にして咬傷犬の數も著るしく減少したのは誠に喜ぶべき事である就ては尚此際豫防の ▽萬全を期し 根本的本病撲滅の方法として繫留中の畜犬全部に對し豫防注射を施行する事とし愈來る十六日から先づ狂犬病の最も多く出た本町警察署管內より着手し漸次龍山憲兵分隊、管內鍾路警察署管內に及ぼすこととした此方法は ▽即ち健康犬 に豫防藥を注射し若し其の犬が狂犬に咬まれても傳染せずに濟むことになるのである即ち一定の期間免疫することになるのである是は既に內外各國に於て多年研究實驗の結果確實に有効なることを證明せられたものであつて丁度人の腸チブス、コレラの豫防注射と同じ理由のものである又其方法は ▽至つて簡單 であつて人が狂犬に咬まれたときの豫防注射は十八日間も病院に通はねばならぬけれども是は只一回の注射で濟むのであるが尤も畜犬家の中には既に獸醫に就き注射を受けた人もあるそうであるが全部に普及せしむる爲め今回警務部にて一齊に無料注射を行ふこととした其の注射の日割並付場所等は管轄警察署憲兵分隊より各飼主に通知する筈であるから畜犬を其日時に ▽指定の場所 に牽行き注射を受くることを特に勸奬する次第である或は此注射に反對する人もあるかも知れぬが決して其等に惑はされてはならぬ之れ單に畜犬及び飼主自身の爲めのみならず公衆衛生上並に一般の危害豫防上社會に對する ▽當然の義務 である注射後は二週間で免疫の効果があると云ふ事であるから六週間の繫留期間も自然短縮しても差支ない事になり飼主は勿論市民一般に早く安心が出來ることになる終りに更に注意すべきは自己の都合若くは故意に指定の日時に畜犬の牽行を怠りて當事者に迷惑を及ぼし ▽且豫防施設 に缺陷を與ふる等公衆衛生上の義務を無視するが如きものなきを信ずるも特に豫め警告するのである

汽船坐礁

伊豫長濱と山口縣和田村沖にて

▲日光丸 神戸市岡崎汽船株式會社汽船日光丸は伊豫國長濱を距る十浬の沖に於て坐礁せりとの報に接し日本海事興業株式會社は第三魁丸及び大阪鐵工所彥島分工場より北東丸の二隻は現場に急行せり

▲大島丸 汽船大島丸は十一日山口縣和田村沖にて坐礁せりとの報あり(大阪特電)

珍らしい朝鮮の鳥

(六) ☆☆☆世界に産する鷺の類は約一百種☆☆☆

—京城高等普通學校教諭 森爲三氏稿—

鷺は動物分類學上渉禽類に屬する體は割合に細く頸と脚とは長い種類によると ◆繁殖時季 になれば頭胸腰等の部分に飾羽を生ずるものが多い主に池沼水田若くは海濱等に棲息する。巢は多く枯枝等を集めて樹枝上に營み粗雜で大形である。諸子は昌德宮秘苑の松上に澤山の鷺が巢を造つて居るのを見たであらう。時によると蘆草中又は岩石の隙間に造ることもある。食物は ◆主に魚類 であるから我々に害を與ふることもあれど又野鼠や昆蟲等を捕つて食べて益を與ふることもある。何れも容姿優美であるから保護鳥となつて居る。世界に産する鷺の類は約百種あつて世界到る處に棲んで居れど主に温暖なる地方に多い

◆朝鮮には 十一種棲んで居る。即ちアヲサギ、シヤウジヤウサギ、クロサギ、シロクロサギ、コモヽジロ、チユウサギ、ダイサギ、ヨシゴイ、サヽゴヰ、サンカノゴヰ、ムラサヽサギである。而して內地に普通に居るコサギ、ゴヰサギ、ミゾゴヰ、ホヨシゴヰ等はまだ採集せられた記錄はないのである左に朝鮮產鷺類中の珍稀なものに就て述べん

◆白鷺と云 ふのは全身純白色で腿の裸出部が內趾より長く尾羽十二枚よりなるものを云ふのである何れも繁殖時季になると胸とか又は背に美しい簑毛を生ずるので非常に優美に見わる、之にダイサギ、コモヽジロ、チウサギの三種がある、其の區別は左の表の樣である

△白鷺翼長一尺四寸以上(ダイサギ)翼長一尺四寸以下(コモヽジロ)翼長一尺一寸以下簑毛は胸と背に生ず(チウサギ)

クロサキ

◆眞に白鷺 にあつべきコサギはまだ朝鮮で發見されない、コサギは繁殖時季には後頭部より二本の長い羽毛を生ずるからすぐわかる。白鷺の類は温暖なる所を好み主に印度馬來半島南支那等に棲み夏季になると內地朝鮮等に渡來するのである白鷺の類は英語で之をエグレットと云ひ朝鮮人は白鷺を音で讀んでピヤクノウと言つて居る

◆クロサギ 本種は前種とは異つて寫眞のやうに體は主に黑又は薄黑である繁殖時季になると白鷺のやうに背と胸とに裏毛の樣な長毛を生ずるこれも白鷺の樣に濠洲馬來半島ビルマ等に棲んで居つて夏季になると內地朝鮮に渡つて來る本種の白色變型にシロクロサギと云ふのがある全身純白ではあるし體も小さいからコサギと誤られ易いが眞に見るが如く腿の裸出部が內趾より短いことと繁殖時季にも後頭部に二本の簑毛が出來ないことによつて直に區別することが出來る

雨は逃げた

△南鮮に甘露が降つた▽ ◆京城はタッタ一ミリばかり

降りさうで降らぬ思はせぶりの雨はとう／＼朝鮮の南を失敬して去つたばかり、天氣はまた／＼カラン／＼と晴れて行く、實は十一日入梅の日から待たれた雨は一時北滿洲と南滿洲と揚子江方面の低氣壓できつと朝鮮を見舞ふに相違ないと豫想されつゝあつたところ其の中の揚子江方面のものは南鮮を掠めて十二日朝朝鮮海峽を通過浦鹽の方に逃げて了つた、それで中部は再び上天氣、農家は實に困つたもので同情に堪へぬ尤も南鮮方面の雨は十二日午前來一晝夜百十ミリの雨量であつて全羅南道が九十ミリ、これは洵に一滴千金の甘露の雨であつた、京城は十三日の未明五時半頃にバラ／＼と降つてわずかに一ミリの雨、仁川がこれもわずかに二ミリ降つた

張動部下兵士の暴狀

支那紳士三名を兵營前で殺害す

天津來電に依れば北京南郊外なる天壇に駐在中の張勳氏部下の兵士は支那紳士三名が兵營前に來りて其辮髮姿を笑ひしを怒りて其の紳士を殺害し武器を組み合せたる下に其屍體を吊し往來通行人に觀せ尚所々にて暴狀益々募りつゝあり(北京特電)

危險なる歐洲航路

宮崎丸に會遇せし三島丸歸る

日本郵船會社歐洲航路汽船三島丸は十二日神戸に歸港せるが其船員の談に日同船は宮崎丸と希望峰にて會遇せしに其後宮崎丸は擊沈されたる事判明せり航海の危險は豫想以上にて天運に任せて航海する外無し(大阪特電)

汽船榮山丸英國汽船と衝突

阿弗利加アルゼリア沿岸にて

松昌洋行汽船榮山丸は九日阿弗利加アルゼリア沿岸にて英國汽船ノルマンプリンス號と衝突しアルゼリアのディゼリー港に入港せりとの報あり(大阪特電)

素晴しい前景氣

須磨子今夜開演 日本麥酒觀劇會

近來稀らしき盛んなる人氣に迎へられて十一日華々しく乘込みたる松井須磨子一座の藝術座連は愈々十三日より壽座に開演する事となれり

◆初日 既報の如く今回の興行は花柳界の重立ちたる者之れに當り且つ例の白上花柳博士その後ろ楯となつて一切の采配を揮り居れる爲に前景氣頗る盛んにして罷り違へば大小

◆藝妓 箱丁の類まで總勢押並んで繰出さんずる意氣込みとて開場前より巳に人氣沸騰し居れるも素晴し、それに大日本麥酒會社京城出張所にては須磨子乘込みに當つては盛花を贈り

◆提灯 數百を立てゝ景氣を附け又た初日開幕と共に美麗なる大花環を贈りたる外十三日には先づ京城の新聞通信雜誌記者を壽座に招待して觀劇會を催し終つて千代本に於いて招宴を開くべく更に

◆藝題 の變る每に京城取引先その他主なる有志を招待して觀劇會を催すなどありて非常な景氣なり

愛讀者優待 本券御持参の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候 東京相撲 木戸割引券 京城日報社 釜山興行中

讀者文藝

(一等に五十錢 二等に[illegible])

△俗謠「出」

○出した浴衣に我が子の伸びが見ゑて嬉しい祇園祭(一等) 黃海道載寧 案西 穗波

○船が出盛る宮井の港泊の孤棹をつんだやら 京城 白洞 [illegible]

○[illegible]にして見たい浮いて出たよな河の月 京城 久 麵家

○出島離れりや大和小舟晴れて眞帆引く片帆引く 金泉 晉岱 [illegible]

燈し火

雲養金允植子、東農金嘉鎭其他の朝鮮碩學鴻儒等が斡旋して來る十七日奬忠壇に開かれる詩文書畫大會は恰も百日場といふ科擧の資格を得るための準備試驗のやうなものに模擬したものださうだ▲越重懸子の話によると朝鮮の採人制度たる科擧は凡で[illegible]やつた方法に倣つたもので其の銓衡は初擇、初試、覆試、文試、殿試の順序に據り之れに悉く及第した者は帝王の面試を經て始めて採擇任官されるので尚任士族である事、品行方正である事など、最も登用の大切な條件で頗る神聖又嚴正なものであつた▲そして此の科擧の資格を得るために必要な百日場といふは十歲以上三十歲までの全國の秀才が各地方官の面前で百日目每に詩文書を課題とした、試驗を十度千日に亙つて受けそれに依る成績が良いと認められた者が始めて試驗委員とも言ふべき地方官から照驗帖といふ願擧の免狀を下げられ初擇の內に數へられる事になつたのだといふ▲今度の奬忠壇の詩文書畫擬科大會は卽ちこの百日場を眞似たものだが、昔の本當の百日場には書は無かつたのださうな

課題募集規定

△川柳「水」 [illegible] 締切十三日 同十四日 [illegible]

募集規程 同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲川柳は端書[illegible]▲每週回投[illegible]▲一種類の[illegible]

水道は四五日大丈夫ならん

べしとの觀測より萬一を慮かりて京城水道係にては[illegible]給水使用[illegible]市民に配附する[illegible]十五尺を見るに至れり之を本月九日の最低水深六尺六寸なりしより見れば稍意を强うするに足るものあり此[illegible]

古川賢治、久富藤九郎、河野[illegible]、同留子、[illegible]禮次郎、富岡忠次、伊藤源七、福井三郎、水口兵二郎、英國人[illegible] 二等(四十二名)[illegible]

第一[illegible] 三等[illegible]名 六月十一[illegible] 午後十時[illegible] 入港對馬丸

天氣

は

西の風晴時々曇り (十三日午後六時發)

商況

東京公債直取引(特電)

十三日出來値 五分利公債特別 [illegible] 九五、四〇

深川在米特電

十三日現在高 [illegible]

東京期米特電

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

銀大豆續騰

綿糸布益高し

留小廉

暴騰を續くる相場

輸出向海產物 頗る盛況

圓四十

[illegible]

既に二倍の額に上る

揚卷 一圓方の騰貴

十六圓內外乃至十四圓の暴落

一二倍三倍の額に達す

骸炭の拂底

內地より移入を俟つ

品缺乏の證

結局全鮮を通じて未だ品拂底なり

紙類益々强硬

鹽鯖引續き不振

昆布新規入荷

下關相場

圓內外なりと七圓上品は十

京城正米

▲朝鮮一等白米(當用) [illegible] ▲同 ▲同 ▲新義州大豆 ▲同 ▲天安大豆 [illegible]

京城雜穀

南大門の廻穀

釜山穀物 (十二日)

生魚市場

仁川期米

十三日前場(入稽付く) [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

市場零聞

强硬伸惱む

天候の如何に依つて高下を見り返

人氣落付く

濃霧深し

旱魃程度如何

人氣落付模樣

仁川米豆取引所

十三日の八月限 [illegible]

賣買取組高 [illegible]

昔を今に雅遊の再興
必ず諸君に充分の滿足を與へん

◆龍の宮居の浮び出しか

平壌や晋州で行はれた觀火會と云ふものは却々大仕掛けで主任者は主に觀察使であつた其の方法は種々あるが先づ江上に長い大きな筏樣のものを浮べ其の上で盛に火を焚き靜に江を流るゝのを貧したものや或は個々別々に焚き火を載せたものを

◆江上に澤山流して

樂しんだもので而して岸には多くの焚き火をして江上江岸萬火相照映して江中金蛇躍り銀波碎くる處は實に得も云はれぬ壯觀美觀である其の光々燦々輝々たる光景の中に觀察使などは數多の人々と靜に舟を浮べて盛宴を張る席に侍するものは妓生あり伶人あり彼の悠揚たる妓生の唱歌は遙かに〳〵江上に響き渡り伶人の叩く鐘鼓の聲と相和して

◆實に仙寰に遊ぶの

概がある正に之れ龍の宮居の浮び出でたかとも思はるゝ空には銀梨地の樣に星がキラ〳〵と黑い天に輝いて居る四顧の江山は暗黑で深い眠に落ちて居る其の内に衆眼に映ずるものは燦々たる江岸の焚火と燦爛たる江上の流火夜光の杯を傾け美人の歌を聞く何と云ふ趣のある事であろうのみならず此の遊船は一隻でもない二隻でもない

◆豪奢を誇る人々は

何れも此の歡樂境に舟を浮べたものだ落々たる江上の此の夜は眞に不夜の蓬萊と化し去るのである處が斯る高尙で優美な雅遊も逝く年と流るゝ月日と共に何時の間にか自然に中止されて仕舞つたのは洵に遺憾に堪へぬのである其處で此の趣味ある雅遊を再興して我十萬愛讀者諸君と共に今回漢江々上で其の雅遊に一夕を過さんが爲此計畫が出來たのである我社に於ては

◆更に幾度も試驗を

重ねた上愈々昔時のものに改良を加へて完全な快樂な面白い觀火大會を催す事となつた次第である要するに何にも無意味なものではないされば當夜の漢江々上が如何程の美觀を呈するかは其れは諸君が大に期待する處であらうが我社は諸君に必らず充分の滿足を與ふる事が出來るであらうと窃かに信じて居る次第である

漢江觀火大會

朝鮮依例の壯絶快絶なる漢江觀火大會は開催日六月二十三日(土曜日陰曆五月節句)も僅に旬日を剩すのみ。主催兩社の擔當員は各部署に就きて準備に鋭意して居り幾千の流燈は滿天の星の如く江心に輝き流れ沙上一時に燃ゆ熾かる幾百の篝火は大空を焦がし天下の壯觀に對し一日も早く江邊數萬の觀覽者諸君と共に拍手歡呼致したく思ひます。

主催 京城日報社 每日申報社

同情に堪へぬ
麥酒一本でも十里の往復 田舍生活

去月十六日來管内江東成川陽德孟山の各郡巡視中なりし瀧平南警務部長は此程歸任して往訪の記者に語りたる處左の如し

今回は最初成川分隊を檢閲し其れより岐倉を經て孟山郡の上南面に入り更に陽德郡の白石土城龍門洛川石湯陽德破邑を經て再び成川郡の化倉踊ゝ陵中を視察し江東に出で歸任したのであるが此行程九十餘里前年と大して變つたことはない只自分が視たところで白石土城龍門の如き田舍に於ても水田の必要を認めてか近來苗代を作つて居るものを見受けた然し苗代の作方は内地の式とは大分に異つて居つたこれは專門家でない自分には良否を斷言することは出來ぬが元來同地方の農民は何れも火田のみを耕作して居るのであるのに水田の必要を認めて水稻を作ると云ふ觀念の出來たのは喜ばしき現象と見なければならぬ

■殊に昨年同地方一帶は食物に窮し木の皮を煎じて飲み木の芽草の根を炊いで食物となし僅かに飢を凌いで居つたが■

本年は昨年の豐作に多少の粟を殘せしものか左程食料に不自由をして居らぬものゝ如くに見受けられた然し其れと云つてもやはり木の芽草の根を見出したれば卒直なる彼等の頭にも致富捷徑は鑛業に勝るものなきの思を爲し近來に於ては農業を捨てゝ置き專心探鑛に從事する者の甚しく増加したり要するに彼等の頭には鑛業家の成功者をのみ見て失敗者を見ず

■只網杖と鐵槌とを提げ山中深く分入りて更に家事を見ぬのである如此現象は將來最も憂ふべきことゝ思ふ■

土城白石地方の戸口を調べて見ると一平方里戸數三十六戸人口二百十人内外である然るに大抵一戸平均五人乃至九人位暮してゐる中には二夫婦三夫婦位で共同生活してゐる然して此等の家の價の低廉なのに驚かざるを得ない温突二間が二圓か三圓で賣買されると云ふてゐる現に憲兵補助員の如きも赴任すれば家を借るより家を買ふ方が廉いと云ふので買つて

に粟を交せて食て居るので決して粟の中に草の根木の芽を入れて食ふのではないのである又同地方は昨年まで我々内地人の影を見ること甚だ尠く中には人跡稀にして太古の面影を殘して居るかの如き山中であつたが故に民心極めて朴直犯罪の如きも極めて尠く自ら作つて自ら食ひ餘力あれば成川の市場に持ちて往つて賣る位の生活をしてゐたのである然るに

■此處に注意すべきことは鑛業の發達に伴ふ惡影響である前述の如く此等地方の者は農業以外に金■

をもうくると云ふ術を知らなかつた富を得ると云ふことをも知らなかつたのであるが昨年來に於ける成川陽德兩郡に於ける探鑛從事者の往來甚だ繁く殊に鮮人採鑛者の發入かゝる此種の事業に依りて金をもうけたる事

ゐるがこれは燃料の關係から如此結果を見たもので即ち燃料は生活費の三分の一を要する幸ひ當年は前述の如く昨年の豐作と鑛業の發達に伴つて賃金の高騰せし爲め稍生活が容易になつた樣であるが先づ平壌附近に居住する者から見ると

■寧ろ憐れな生活と云はなければならぬ■ 即ちかつて此地方に勤務してゐる憲兵も揶々生活向が不自由で同情に堪へぬ■

ことが多い米は市日に成川邑まで買出し溜置くのである萬一市日に雨が降るとか何か支障があつて買出しに往けなかつたならば米を食ふこと出來ぬビール一本飲むのにも成川に注文してやらなければならぬ則ち一本のビールが九十錢麹取瓶一個が十八九錢かゝる此調子で計算するときは田舍に往つて金でも殘さうと思ふものなら大變な心得違ひと云はなければならぬ殊に一朝病氣にでもかゝるものならば其れは如何に國家の爲めとは云ひながらも氣の毒に堪へぬ此間も土城憲兵分遣所の憲兵の細君が手に創をして附近の醫生に診療してもらつたところ幸にして一時治つた然るに近頃になつて其創口が又々惡くなつて如何ともすることも出來ない其處で成川まで籠に乘つて診察を受けに往つたとの話も聞いたが土城から成川までは十里餘ある往復二十里僅の治療にも籠に乘つて長途の旅行をさせると思ふと眞に同情に堪へぬ(平壌)

大阪地方暴風雨

十二日夜來大阪地方に暴風雨あり玉造署管内には浸水家屋百六十六戸より…に及び谷町には倒潰家屋一戸を出せり(大阪特電)

縱覽者千七百
築港起工記念日當日に於ける

十一日の築港起工記念日に築港内を縱覽した縱覽者の數は男千二百六十三名女四百八十名の多數に達し一時仲々の賑ひを呈した因に當日遞參の爲め入場を許されなかつた向きに對しては後日申込み次第に縱覽を許す事になる可しと(仁川)

庭球試合は十七日に變更

既報仁川鐵道庭球部對仁川某會庭球部の庭球試合は去る十四日(日曜)の筈なりしも都合により十七日(日曜)午後より山根町庭球コートに於て催ほさるる由なるが當日は各方面に招待狀を發したれば盛會を呈す可し(仁川)

渚の砂

■女中八百名 京城高等女學校で此間女中の講話會があつて食物の腐敗と防腐法等に就て働く心得などの話があつたが集まつた女中さんが八百名あつたさ

■蛇の樣な男 名古屋西區…次郎(三二)は押切町佐藤小三郎の娘お貞を見初め…

■團扇と心中 …

■一郡千餘名 …

■一段三十圓 …

俞令嬢結婚式

京畿道參與官俞…氏長女…嬢は李…氏次男…氏と婚約整ひ十三日午後二時より…に於て盛大なる結婚式を擧行し…數百名參列せりと

神社とお寺と教會

○メソヂスト教會特別集會(旭町二丁目) 十四日午後八時半より今回傳道布教の爲め入京せる同教派の石坂傳道局長に依頼して一場の講演を願ふ由、來聽を歡迎す

○弘法大師降誕會 新町高野山にては十五日高祖弘法大師降誕日に付午前十時より正午十二時迄京仁小宗布教師相集の上大般若經六百卷轉讀を修し午後一時よりは例年の通り有志の奉納淨瑠璃及び筑前琵琶等の餘興あり

○淨土宗布教院臨時布數 同院にては今回山崎教第上人を特請し十二日より十四日迄毎夜八時より臨時布數を爲し米粒名號施本等の配布を爲す由

○西本願寺別院(若草町) 十四日午後二時より…

赤毛の染 ナイスから 色も艶も申分ないそらが染はナイスが第一
ナイス五大特色
■僅二十分で染る、
■毎時迄も永く保ち、
■艶々と黑く美しく、
■襟枕に浚着せず、
■用法至極簡易、
大瓶七十錢 小瓶四十錢 男子用三十錢
發賣東京大阪 丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

質 堀佐營業所 京城黄金町二丁目入(永樂町停留所北) 電話六三九番

アナタの胃病には 強胃消化錠 マーゲン 八木田醫學博士處方 島田藥學博士鑑査

にきびそばかすをとり色白くなる 驚いた!化学の力 つけてものんでもニキビが治る ベーリン 特約店 京城南大門通 新井大藥房 全國化粧品藥店に有 東京上野 博仁房

何れの家庭にも常備の救急藥 赤十字印 安川コロダイン
効力非凡なるは一般に定評あり
本舗 東京市日本橋區上槇町 安川晃榮堂本店

時計賞金贈呈 美術品製作所 仁川本町 糸岐商店

胃腸最新藥 ヂゲスチン
合資會社 開城商店

猿印 月虎印 のみとり粉 南京虫、蚤、虱、油虫、蟻、蚊等全滅保證 滅蚊線香
帝國醫科大學卓効證明 内外國博覽會賞牌受領
製造所 販賣所 紀州有田郡山田原 大阪順慶町二丁目 上山靜藏鑑製
INSECT POWDER

移轉擴張廣告 大正齒科醫院改 税所齒科醫院 京城旭町二丁目八一(府廳裏通り)

米國標準スタンダードペイント會社製 ラバロイドルーフィング アスファルトフェルト パロドロー 最上毛製屋根葺用(見本進呈) 朝鮮總代理店 京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番) 釘本藤次郎本店

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番

宮内省御用達 三ツ矢サイダー 平野水 コロナ 帝國鑛泉株式會社

内科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(品商陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄

第 汽車 京釜線 南行 北行 京義線 京元線 湖南線 平南線 [illegible]

明君道中記

第百七十五席　田邊南龍口演

松平長七郎は大山詣りの者が瀧壺に入つて瀧を浴びて居るを見ますと背に一杯の刺青 長「オーその刺青をやらは在柄の平太が蟒退治の圖であるか美事なものであるぞ、コレ〳〵其方も刺青をいたし居るな △「ヘエ俺のはホンの、へゝモウ影ばかりでげして 長「何んじやその圖は △「仍且何んでございますよ、在柄の平太の蟒退治でげす 長「左様、イヤそれにいたしては大層汚ないの、何故左様に粗末である △「是は恐れ入りました、まだ俺のは抹しが入れてありませんからそれでとんなのでございます 長「其方の蟒は穴子のやうであるの △「是はお口の悪い……何んだ ○「だから云はねえ事じやアねえ、何らせ刺青をしたのだ借金しても抹せと云ふのにしねえから旦那にこんな事を云れるのじやアねえか今迄に在柄の平太の穴子退治と云ふのは聞いた事がねえ氣の利ねえ野郎だ △「然し今更何うも仕方がねえ」是から皆々此の瀧壺から出ました先達が案内で山に登りますと懺悔の松と云ふのがあります、此所に來ると 先「サア〳〵皆さん此所で身の上の懺悔をおしなさい、残らず云つてしまはないと、登山は出來ませんよ、此所で云つてしまへば、消えて無事にお詣りが出來るのだから、早く云つて〳〵 茲で各々懺悔をする、此の時に長七郎が 長「扨は此に於いて懺悔をいたすのであるか、予は天下の謀叛人が侍、されば此所に於いてその非を述べねばならぬか、如何に天下の罪人とは云へ予が親身の父、その非を何んで我口にて云へやう、且つ又三代将軍家には當山に御歸依なされ釣鐘堂を建立せしとの事されば斯る場所に予が如き身の不浄者は入るべきでない、コレ宅兵衛守平治、歸山をいたさう」斯く仰せになつたその心中推察いたして兩人の家臣ハラ〳〵と涙を流し 兩「御心の中御推察申し上げまする」茲で下山をして大山を後に小田原を指して參ります、其の當時此土地は稲葉丹後守が領主でございました、此の方は春日の局の御子息で權威あつた方、その小田原城下に入ると道の兩側に、大勢の乞食が乞食をする。長七郎も是に來ると右の乞食から惡んで下さいましと、不幸な惱々の情狀、宅兵衛に申し付けて一錢二錢と與へました處が大層乞食が茲に集つて來た、約三十人以上、不圖長七郎殿の胸に何事か浮びました北叟笑み 長「コレ〳〵非人共、大居其方等は集まつたな、何人程居る 乞「ハイ、憚う見渡しました處が三四十人は堅く居まする 長「左様か、して其方等にも支配頭とも云ふべき者が居るか 乞「ハイ〳〵、左様にございます喜六と申しまする者が私共の頭でございます 長「ウム、その非人頭の喜六を是へ喚べイヤ予に少し考ふる事があるから、イヤ〳〵其方等心配いたすには及ばぬ安心いたせ其方等が爲に計らつて遣はすから、茲で非人が一人頭の喜六の許に參りました此の話しを聞きました喜六は早速出て參りました 喜「へエ旦那様只今は皆々へお惠み下さいまして有難うございました、私が其の非人頭の喜六と申します 長「オゥ其方が喜六か、イヤ非人たりとも其の頭となるは天晴れなものじや 喜「是は何うも恐れ入りました、然し旦那様私の配下の者は隨分此の街道に多く居りますが何一つ惡戯をするやうなものは一人も居りません 長「左様か、イヤそれも其方が取締り宜きにある賞め遣はくぞ 喜「然うお賞めに預りましては恐縮いたします、して旦那様何の御用でございます 長「ウム、その事であるが予は松平長七…… 喜「イエツ、彼の、ウーン駿河様のア、若ー君様でございますか、勿體至極もございません、非人の身分でお傍に依るすら勿體ないにお言葉まで…… 長「イヤ〳〵其の配慮は叶らぬ、友と思へ此方も今は浪人されば身分なきものである安堵いたせ、予が其方等の便を計り取らせる故供をいたせ 喜「ハッ」ゾロ〳〵乞食が長七郎の跡に從つて參ります

一つ持たせた 木村屋パンが 可愛い笑顔の種をまく (京城明治町 電二八七〇)

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科
京城本町三丁目 瓦斯會社向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

六月十五日
舊四月廿六日戊子 木命三碧 東危 大安
[illegible]

口演藝案内

壽館 京城壽町 電話一〇一三
女義太夫 豊竹小糸一行 當る六月十三日より五日目 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
▲女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行 今回壽在鮮巡業お名残り特別興行として開演 ▲後藤又一郎(菊若)▲幡隨院長兵衛(菊六)▲小栗判官(吉田奈良子)▲千兩幟(京山和生)▲義士傳俊徳丸(夏菊)

有樂館 早川演藝部直營 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
六月八日より公開特撰フィルム 米國ユニヴァーサル會社特約 東京小林商會提供 ○神秘劇「ふた道」 ○世界的の連續寫眞第三集の覆面 [illegible]

御成座 電話一九一 新派 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 松井須磨子一行 [illegible]

黄金館 電話二六三七 六五二 [illegible]

内科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三七二九番

男の生殖器病
東京帝國醫科大學、公私病院寄贈、幾多博士實効證明。實驗感謝狀無數。局部に自宅で外用せば偉大の効が目に見える來所者には醫院部にて懇切説明す
新案特許眞空發法器は生殖器發育不全、包莖、陰萎、遺精、夢精、交接不快、感覺減少、神經衰弱、手淫、房事過度の障害に卓効有
ハガキで申込めば幾多博士證明の圖入説明書無代郵送す
東京神田かぢ町五 東京眞空療法研究所 電話神田七二三番

りん病ばい毒 患者諸君に警告す
[illegible]
百圓 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院 [illegible]
にせ物あり 大阪有田 [illegible]
京城 南大門外 クラフト [illegible]
大阪區裁判所檢事局 [illegible]

にせドラッグあり注意
[illegible]

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八四四 一九四五 四 振替京城五七番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)
支配人 西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

御婦人の實驗談 その三
美顔術師が證明しなくても
使つて見て直ぐ特長の分る
レート白粉 —の實驗
美顔術師 佐川かつ子女史談

▲お化粧の ▲上手下手 で美しくも、醜くくも見られるものでムいます。只、白いこばかり白粉を塗り立てゝも、それはお化粧でなく、お化性でムいませう。進むだ今日のお化粧は、ごこかに上品で自然の白い艶があり拔い感じがせなくては、お化粧こいふ資格もなければ、美人こいはれる資格もムいません。

▲夫れなら ▲怎うして お化粧をすれば、現代のお化粧の眞髓を得られるのかこ申ますこ、それは第一に白粉の撰擇でムいます。いくらお化粧上手な方でも白粉が、粗末なものだつたら、決して美くしいお化粧は出來ず、只、白く附くばかりの白粉でも不可。自然の白さに艶があつて附り伸びの良い白粉でなければいけないのでムいます。

▲そんなに ▲完全無比 な白粉があるだらうか、こ不思議に思ふ方もムいませうが、それは大有りで、科學の進むだ今日、これ位のものが日本で出來なかつたら日本の恥でムいます。乾度皆様も御愛用なさつて居るに違ひのない東京平尾のレート白粉です。これを妾が美顔術師こして長らくの實驗こ、嚴格な研究の結果、先づ日本第一番の白粉でムいませう。

▲是は敢て ▲妾が證明 せずとも、皆様は知らず識らずの間に「樂にお化粧の出來る良い白粉」「附り伸びの良い白粉」「白さに艶のある白粉」こいふお感じがあるに違ひありません。それは他のものこ較べて見るこ明瞭こ分るので、「成る程違ふ」こ乾度御合点がまゐりませう。即ち、附り伸びがよくつて被覆力が強く其上白さに自然で上品な艶があつて決してお化粧崩れ致しません。これでなければ眞實の鉛白粉でなく、眞實のお化粧は出來ないので、これが新東京式お化粧料こいふレートの優れた特長で追に

▲名響ある ▲高貴御用 品たる譯でムいませう。で妾は本職の上からレート白粉の使ひ方を些し申上げて參考こ致して置きますが、お化粧の前に下地にクレームレートを引いてこれを拭き取つてからレート煉白粉を附けるこ美くしい濃化粧が出來、又、單にレート白粉だけ刷いて置くこ此季節に適はしい淡化粧こなります。尚、レート水白粉は其儘なり或はレートチエリーを下地にしてレート水白粉をおつけになれば過上りなきには殊に美くしうムいます。して、外出にはレート打白粉かレート紙白粉は決して忘れず携帯してお顔直しに用ふ必要がムいます。

佐川女史の美顔術
向つて右端 佐川女史
向つて左端 助手

レート化粧料本舗
東京 平尾賛平

京城日報
第三版

六月十四日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 郵税[illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局三四五番 營業局二二六番 [illegible]

東京だより
東京支局 一記者

▼臨時外交調査委員會組織に就て世論、或は寧ろ内閣改造を行ふ可しとするものあれど、内閣改造には自ら之に多少の摩擦を伴ふを免れず、蓋し、今回の特別機關組織は、帝國興廢の危機を孕める非常の秋に際し此の摩擦を回避して、寧ろ、内閣改造によりて得る効果以上の効果を擧げんとするの道に出でたるものにして此意味に於て、或は却て、内閣改造の實果を收め得るものと言ふ可し。

▼而して、本會成立の意義の中心を爲すものは、政黨を代表する分子の參加せることとなるが、由來、政黨の主張するところ、必ずしも外交政策のみに非ず、内政に於て、財政に於て各其の立策ある可く、新機關が唯、軍國外交の重きにのみ協調を求めて、其他、その爭ふ可きを爭ふ可しとするもの、まことに、其意の存するところ明白にして、敢て何等の束縛を政黨に加へたりと言はず。

▼事此くの如きに際しては、一切の感情と黨派心とを去り、虚心、その抱懷を披瀝して國策●樹立に資す可きのみ。その成敗利鈍は、自ら別問題にして、彼の徒らに形式論に拘泥して、大策を誤るものあるは、寔に、慨す可しとせん。

▼但、既に成る可きものは成れり今後の問題は之が活用如何に在り渠成つて水通せざれば、通せざるもの罪のみ。國民は、新機關の特別なる機能の發揮に就て、注目を怠らざる可し矣(六月七日)

▼臨時外交調査委員會委員親任式の日の六日、駐支米國公使ラインシユ氏は、本國政府の訓令を奉じ、突如、北京政府の外交總長伍廷芳氏に警告書を傳達せり。曰く、米國は支那が内爭を速かに終息せしめ、平和を恢復せんことを切望す。支那の對獨宣戰は第二の問題にして、第一の問題は内治の統一なり。米國は友誼上、支那の爲に盡瘁すべき責任あると共に、支那が統一ある政府を維持すると否とは、米國にとりて重大なる關係を有す。支那が列强と伍して世界的地歩を占めんとせば、内爭禍中に在る可からずと

▼蓋し、段總理罷免の當時、黎總統背後の黒手を以て傳へられたる米國の外交は、玆に、果然其鋒鋩を露呈し來れるものにして、而して此行動並に書中の要旨は、曾て、帝國及び列强が、支那に對し内政不干渉を聲明し、對獨參戰を勸告せる精神に背反し、之を邈視せるものといふべく、或はラインシユ氏が、曩に米國が支那に對獨斷交を勸誘するや日本が次で參戰加盟の勸告をなし其功を奪ひしを嗛み、更に帝國政府が北方官僚派を援助するやに猜疑し、黎總統周邊の親米派と呼應して敢て今回の積極的行動に出でたりといふも、兎も角、已に骰子の投せられたる局面に對しては、吾人はまた自ら之に臨むの態度を決定せざる可らず。

▼北京の外交團は、米國が日本を措きて敢て此の無遠慮なる政策を執れるに就て態度を表明したり。支那の統一平和を希望することに於ては、日本を始め聯合各國政府は敢て米國の後に落つるものに非ず、只其の希望を徹底するの手段に於て或は異なるものあるのみ。日本が支那のことを以て、必ずしも支那のことに非ずとするの秋、米國が支那の内政に對して容喙するものとせば、日本が空しく沈默を守るを得ざるはもとより其處なり。

▼政府は八日の閣議に於て、之に對應す可き新たなる政策に就て考慮したりと傳へられ、駐日米國大使ホイラア氏、及び佐藤駐米大使は各活動を開始せりといふ。極東局面の推移に關して、吾人は姑くも監視を弛うす可きに非ざる也(六月八日)

◆宮中賢所=本日李王殿下の御參拜ある可き=

支那の政變と其の將來(上)
時局は實戰に訴ふる憂なし 結局は西北兩派の互讓妥協 復辟問題は未だ時機に非ず
=小松綠氏談=

△旅行の目的 今回の旅行は全く保養的漫遊に過ぎず、予は二十年來の官海生活より脫して玆に始めて閑雲野鶴の身となりたることとて出來得る限り休養せん考へなりしが内地の旅行は既に大方之を試みたるより扨てこそ今回の鮮滿漫遊を思ひ立ちたる次第なり。殊に朝鮮は予に取りては眞に第二の故鄕にて舊知舊友尠からざれば從來の交誼を陳謝す可く京城には特に暫く滯留する事と爲し居れり。

△朝鮮の前途 予は學生として海外に八年を送り、又外務省に入りてよりも多くは外國に在勤せし爲め故鄕の如きは幼にして出でし以來嘗て省みしことなく、東京に在りても引き續き居住せしは十年に足らざる有樣なるが、獨り朝鮮には滿十歲以上を過せしこととて再び此の土を踏むに及びては眞の故鄕とも感ぜられ「山川悉く舊知の思あり」予は内地に引き上げし當時四十年振りにて鄕里を訪ひしが東北地方の狀況を朝鮮に比すれば總ての方面に於て寧ろ劣り居れるの感なき能はず禿げたる山岳、不規律なる田畑等の狀態は朝鮮の規則的なる耕作法、殖林の蹟歷然たる等其の進步の狀況に較ぶれば窃かに忸怩たるものあり、之れを思へば朝鮮の前途の極めて有望なるを痛感せざるを得ず。

△北方の强也 滿洲方面に於ては安東鐵道沿線は所謂山紫水明にして風致に富める個處尠からざるも奉天以北以西に至つては平原萬里また山川を見ざる程の廣漠たる狀態は人をしてそゞろに愛親覺羅氏發祥の地たるを首背せしめき滿洲人が支那統一の大志を抱きて蹶起せし當時の樣を偲はしむ。同地方は所謂地方の强なるも近來屢々南方派の壓迫を蒙り遂に滿朝の覆滅を來したるが今回初めて北洋派より逆に南方派を壓倒するの變態を見るに至れるは不思議の回り合せとこそ謂ふ可けれ。

△普通の政變 今次政變の原因は段總理の罷免にして此の處置に反抗せる督軍側が兵を動かすてふ事態を見るに至れるものなるが這は革命騷亂の如く暴く大袈裟なる事件にはあらずして普通一般事たる内閣更迭の政變に過ぎず。たゞ餘りに電報線の巧妙なる爲め世には今にも戰亂勃發の思を爲す者尠からざる模樣なれど、實は悉く虛勢にて互に策略を闘はすに止まり實戰に訴ふるが如き憂は斷じてあることなし。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ
中島生

(二) 吾人の深憂

思ふに、今日は我日本帝國々運が、盛衰興廢の一大轉機に際會して居る時である。歐洲の大戰は、三年に亙るも未だ其終局の見定めがつかぬ。而して日本は現實に交戰國の一であるが、敵國と干戈を交へては居ない。直接間接に戰爭の影響を刻々に受けつゝある。然れども青島陷落以來、國民の多數は、日本が戰時狀態に在るを忘れたるかに見ゆる。歐洲戰亂の好影響とも云ふ多少の事實が恰かも日本人をして、日本は中立國として、時局に臨めるかの如き感を抱かしめて居るやうでもある。國民は多少微醺加減であるやうだ。尤も、良い現象を强いて悲觀する必要は勿論無いのである。成程、現下の戰爭に際して、我國は名實共に世界の强國たる地位に進み來つたのは事實である。日本の懷中は大分に溫かくなつて居る――乃ち此の戰爭に於て、日本は直接に、間接に、儲かる側の立場に居る。素より臨時の現象ではあるが日本の貿易は、多年の逆境より浮び出で、輸出超過となり、之に順應して正貨の數量が著しく殖えた。正貨の蓄積高九億圓と云ふは、開國以來の盛況である。單に現在のみより見れば、日本は經濟上の不安より免れて居るやうである。之を富の關係より見れば、借金持の貧乏者ではあるが、家の系圖の御蔭で、多少は金持ちの間にも顏を出して居たと云ふ如き狀態が、いくらか改まつて、小借金もあるが、財産も少しはあるので、先づ信用も一通り備はつて、遣錢の少しは他に融通ができる位にはなつた。外國關係では、日露協約が結ばれて、帝國の政治的關係が改善され、國防上の不安が先づ取り除かれたと同時に、經濟同盟に加入して、聯合諸國と經濟上政治上の關係を有利に結んだ事になつた。小金は出來たし、肩身は廣くなつたし、國力發展の基礎は僅かに固くなつた事は、眞實喜ぶべきである。併し乍ら眼を閉ぢて熟々日本の將來を思ふ時に、吾人は胸中に一大不安の蟠まるを感ぜずには居られぬのである。只だ單純に現在を見て喜ぶことのできないと同時に明るい喜悅の後から、黑い心配の影が徐々と迫り來るを覺ゆるのである。此の大戰亂も、何時か一度は局を結ぶであらう。愈々戰爭と平和との境涯まで來た時こそ、今日對岸の火事でも見て居るやうな地位に居つたところの日本[illegible]國民は、今更乍ら帝國が此の戰爭と意外に深い關係に居つた事を、痛切に曉るであらう。今更乍ら帝國が國際的に厄介な、面倒な地位に立つて居る事を切實に感ずるのであらう。世界的戰爭の局を結ばんが爲めの、來るべき空前の大平和會議に於て、日本は獅子の分け前を收め得る事が易にできるか、どうか？今日恰も[illegible]時代であるかの如くに順調を謳はれるところの經濟界は、果して後に於ても花咲き鳥啼くの陽氣を續ける事を得るであらうか？。是等の問題は、勿論大に懸念すべき問題であるが、然かも他に最つと手近な而して直ぐにも解決せねば、日本の國運を危うくする程の、重大且つ焦眉の問題が、日本の眼前に迫つて居る。それは外でもない、支那問題である。吾人の深憂は、實に現下の支那に對して、日本は如何に爲さねばならぬかの問題に懸つて居る。日本と支那との關係は、單に兩國の關係のみでなく、歐米列國との關係が渦を卷いて居るの故を以て、日本にとりては、此れ程重大な問題は無いのである。

日報詩壇

○初夏幽居　渡邊 凌雲
新篁解籜上靑霄。一水潺湲繞小寮。中有先生擁北牖。茶煙禪榻俗氛消。
詩思頻催初夏朝。只聽簾外雨瀟瀟。幽居不管人間事。默坐焚香試篆雕。
評曰　二首幽淸極有雅趣

○老人亭聽鵑　田淵 黍州
雨收山角夕陽靑。新樹交枝蔚掩蹊。來問兩雄盟約跡。老人亭寂杜鵑啼。
評曰　情思不盡、風調亦佳

○初夏幽居(限韻)　志智 敬愛
日倣東皐興更饒。天漿當滿杖頭瓢。搖花風起吐紅火。蕉葉雨來符碧綃。老僕南庭移稚樹。頑童後苑捉新蜩。主翁連日亦無事。葦笠帶煙培菊苗。
九十春光夢一消。樹陰濃處避喧囂。朝追狐犢隨煙轉。夕訓諸生燈火挑。雨後竹孫長紫角。風前梅子綴黃瑤。南窗偶取春衣曬。花片如雪袂裡飄。
評曰　二首寫景精緻、見細心工夫

日報歌壇

仁川 菊川 月佳
山里の初夏にふさけしむくろ鳥ひれもす泣けど音れは默せり

京城 三 枝 草
月の夜にたまく〳〵登めて君なもふこの寂しさをいかにとかせむ
君ゆへに知りし花かなあゞけなき花かなかにかくいとし花かな

△保合底强し 大阪前正安く後場更に安入報なるも濃縮たり頭上の涌へたるより存外買煽にて十九圓九十錢丁度と寄付たるが[illegible]其他より買物多く二錢と騰げたるも今より日立ち[illegible]

△現物界 [illegible]

朝鮮出張所設置御披露

東京鋼材株式會社
本社並に鋼材工場　東京府南葛飾郡大島町六丁目
電話本所(長)一四四七・二二二九
營業課目　電氣及坩堝並平爐製鋼　高速度鋼工具用鋼　特殊鋼發條用鋼　軟鋼類鑛山用鋼

スプリング印八角鋼

帝國海軍　鐵道院　御指定工場
本邦唯一の各種スプリングに於ける我國最古の專門製作工場

スプリング工場
同上大島町二丁目
電話本所(長)三九九八・四四七五

□各種スプリング
鐵道用、機械用、紡績用
兵器用、電氣用、船艦用
自働車用、其他

朝鮮出張所
京城永樂町二丁目
電話一八七一番

今回右之通り出張所設置仕候に就ては吉田九助氏を本社朝鮮出張主任に任じ朝鮮に於ける一切の營業を担當せしむる事と相成候間大方諸賢の御援助奉願上候

東京鋼材株式會社
社長 東 清

謹啓每々御引立に預り難有奉存候陳者拙者儀今回東京鋼材株式會社朝鮮出張所主任に任ぜられ朝鮮全道に於ける本社營業一切を担任致候に就ては倍舊の御愛顧を蒙度懇願致候敬具

朝鮮出張所
吉田九助

支那の形勢

▲總理は江朝宗

臨時國務總理代理たる外交總長伍廷芳氏は本官を免ぜられ歩軍統領江朝宗氏國務總理に任ぜられたり而して國會解散には江朝宗氏副署したり（北京特電）

▲參衆兩院解散

愈々總統令にて公布さる

黎總統は督軍團の要求に依り參議院及び衆議院を解散し追て期日を定めて兩院議員の選擧を行ふべき旨命令を發布せり（北京特電）

▲北京ポスト主筆釋放

北京ポスト紙上にウキルソン大統領及びラインシユ米國公使を誹謗する記事を掲げ天津にて捕縛されたる同紙主筆ギルベルトは今後米國政府の辯難を爲さずとの誓約を爲し起訴を取り下げられたり（北京特電）

◎特使親任

十三日午前十時三十分宮中御座所に於て寺内首相、波多野宮相、本野外相、鷹司侍從長侍立の上左の如く親任式を擧行せられたり（東京特電）

正三位勲一等子爵　石井菊次郎
任特命全權大使
米國へ出張仰付ラル

陸軍歩兵少佐　谷川清治
副領事　今井忠直
石井特命全權大使隨員トシテ米國へ出張仰付ラル（各通）

□總督參内

長谷川總督は十三日午前十時參内御座所にて　天皇陛下に拜謁仰付られ終りて皇后陛下の御機嫌を奉伺し退下後波多野宮相を官房に訪問し種々要談する所ありたり（東京特電）

◎大使隨員任命

十三日石井子爵の特命全權大使親任と同時に隨員として左の通り任命發表ありたり（東京特電）

海軍中將　竹下勇
陸軍少將　菅野尚一
外務書記官　永井松三
海軍中佐　安東昌喬

特命全權大使　子爵　石井菊次郎氏

◎辭令

十三日附左の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府平安南道參與官正五位勲三等　張憲植
任朝鮮總督府忠清北道長官（二等）
朝鮮總督府事務官從五位勲六等　人見次郎
兼任朝鮮總督府鐵道局理事（二等）
正五位　柳赫魯
中樞院參議被仰付
朝鮮總督府忠清北道長官　柳赫魯
依願免本官

◎哈爾賓鮮人會　進捗

哈爾賓に住居する朝鮮人は總計二百人位にて從來共濟會とて極て單純なる目的にて專ら病死者を管理し居りしが近來鮮人の資質上に於ける發展は著しきものあり一萬以上の財産を有する者五六名に達し尚ほ人物としても相當の者尠からず將來益々鮮人勢力膨脹の傾向あるを以て民會組織の鮮人會と云ふ自治團體を組織することとなり制定中の規則及び其他手續は著々進捗し遠からず總領事館に許可を得て實現すべしと

◎京畿春蠶豫想

京畿道本春の蠶種掃立枚數三萬一千四百八十九枚にして氣候の關係上一般に掃立遲延せしが蟻兒掃立以來の天候大體順調にして發育亦頗る佳良なるを以て目下の所收繭豫想高は八千三百五十八石なりと

◎京畿農業者狀況

大正五年十二月末現在調査に依れば京畿管内農業者は合計戸數二十四萬六千零二十一人口一百二十七萬七百十一人なるが之を各國人別に見る時は内地人戸數一千七百二十九人口六千九百四十三朝鮮人戸數二十四萬四千百零三人口一百廿六萬三千零四十四支那人戸數百十八人口六百七十一其他の外國人戸數一人口三なり而して前年に比し内地人戸數二十五を減じ人口二百八十三人を增加したるは京城府、高陽、富川の二郡に於て市街地又は市街地附近の農業者他方に轉居し若くは轉業したるが爲め減少したるに因り仁川府其他の各郡に於て移民の來住者若くは轉住者ありたる爲增加したるに因る尚京城府、富川郡の人口減少したるは如上の理由に依り仁川府谷郡の人口增加は家族の來住者又は出生兒のありたるに因る又朝鮮人の前年に比し戸數一千七百八十二戸を減じ人口六千七百五十八人を增加したるは前年は實地調査に依らず民籍簿調査に依りたるもの若くは誤聞にあるものありしに因ると

□賢所御參拜

十二日御著京遊ばされたる李王殿下には十三日は御旅館霞關離宮にて御休養十四日參内賢所御參拜東宮御所御參訪等ある可し

◎郵便爲替貯金概況

五月中に於ける郵便爲替貯金概況を聞くに左の如し

▲郵便貯金▲　は現金及び切手證券を以て預け入れたるもの二十七萬九千九百二十二度金額二百九十萬九千八百九十一圓拂出六萬八千六百八十六回百九十三萬六千二百四十七圓にして五月末日現在郵便貯金額は内地人八百四十一萬六千七百三十八圓（人員二十五萬四百九十八人）朝鮮人二百八萬八千六百九十六圓（八十五萬一千五十七人）合計一千五十萬五千四百三十四圓にして前年同月末に比し百一萬一千六十一圓本年前月末に比し五十七萬三千六百五十四圓を增加せり

▲郵便振替貯金▲　は拂込、口座振替を合し受入度數四萬六百四回金額五百三十一萬四千四百七十二圓又拂出口座振替を合し拂出度數二萬五千五百三十九回金額五百四十六萬九千九百九十圓にして五月末日現在高は預入人員四千百七十五人金額八十九萬五千百五十六圓之を前年同月末に比較するときは二十萬五千三百五十五圓を增加し本年前月末に比し五萬五千五百十八圓を減少せり

▲内國爲替▲　は振出口數十九萬一千九百九十口金額四百五十萬五千二百十七圓拂渡口數二十萬一千四百八十五口金額四百七十七萬一千百七十九圓にして今之を内地滿洲との關係を見るに朝鮮受内地拂爲替三百五十五萬四千九百三十九圓内地受朝鮮拂七十二萬八千二百十二圓にして差引二百八十二萬六千七百二十七圓の内地拂過を示し朝鮮受滿洲拂爲替は十八萬四千九百六十四圓滿洲受朝鮮拂十八萬五千九百九十五圓にして差引四千三百六十九圓の滿洲拂過を示せり

▲外國爲替▲　は振出二百二口四千八百三十五

◎京城水道給水力

昨今連日の旱天に由り打擊を受けつゝあるは獨り農作物のみに止まらず京城水道の如きも過般來其の限ある給水能力に依り殆んど限りなき水の需要を滿す事困難なるを慮り近く京畿道水道係にては夜間の斷水を決行せんとの議熟し居りしが幸ひ一般市民の注意に由り使用水量の大激增を見るに至らずして今に及び夜間斷水の必要も今暫らくは認めざる有樣となれるが而かも此所五六日も降雨を見ざるに於ては水道給水能力に於て何等變化を見ずと雖も使用水量の激增は免れざるべく從つて夜間斷水の亦已むを得ざるに至るなき乎を當局は憂慮し居れり即ち京城水道使用量は已に一日四十二萬立方尺（約六萬四千七百八十五石）以上を示しつゝあるが由來京城水道の給水最大力は一日四十五萬立方尺（約六萬九千四百十二石）にして餘す處僅かに三萬立方尺（四千六百二十七石）以下に過ぎず而して現時京城水道の正當使用者は計量七百四十戸專用三千三百二十六戸「私設共用五千四百九十九戸、官設」共用八千四百九十六戸計一萬七千六百十一戸にして此他正當に鑑札等を所持せずして共用給水を汲取り又は水道栓を拔き放して使用する等寧ろ亂暴なる方法を取る等の者あるは遺憾とすべき所にして給水能力の限度比較的少なる京城水道なれば此際市民各自の注意を切望し居れり

◎鯛は不漁か

季節遲れとも云ふ

例年當灣内及び近海に於ける鯛漁は五月中頃より恰も羅戰場の如き有樣にて鯛の水揚毎日千以上を見居れるにも拘らず本年は六月の既に中旬に入らんとする昨今鯛漁の登頭乏しく本月十日迄に於て僅々二千五百九十三尾に過ぎざる爲め從つて相場に於ても毎年昨今にて百目四五錢のものが本年は十四五錢を唱へ居り市中にても食膳にするは比較的上流筋に過ぎざるものの如し當業者は此不漁を目して季節遲れと稱し居るも季節遲れは自然豐漁を諾ふ能はざる現象なりとて中には悲觀し居る者もあり之に反して鯖漁は倍々旺盛にして毎日五萬十萬と大部の水揚げを見居れり（元山）

◎原田社長歸京

日本郵船會社取締役會并に同社株主總會列席のため久しく東上中なりし原田朝鮮郵社長は十三日午後九時著列車にて歸京せしが社員其他の出迎多かりき

◎鴨江流筏近況

採木公司の調査に依れば本月十一日迄の支那側著筏數は五百二十二臺約十五萬七千連其内賣買取引濟のもの三百七十七臺約十一萬三千連に達せる由（安東縣）

◎江原道の螟蟲驅除

本年の天候は恰も害蟲を發生しその蔓延に適するものにして目下春川地方の苗代には怖るべき螟蟲盛に發生しつゝあるを以て當局に於ては警務官憲と協力驅除豫防に著手したり（春川）

◎忠南の慈雨

前後二箇月を通じて雨らしき雨なかりし爲め一般の農家は勿論商業家工業家に至るまで隨分蒸熱に苦しめられ是非に一雨欲しと祈りし甲斐あつて十二日朝來ポツリ〳〵と降り出したる雨は午前十時頃より遂に本降となりたれば萬民の喜び譬ふるにものなし（大田）

◎釜山部隊會計檢査

來鮮中の會計檢査院副檢査官平塚定二郎氏は來る十六日午後七時著列車にて來釜釜山守備隊、陸軍運輸支部及び各軍衙の會計檢査を行ひ十九日朝出港の連絡船にて歸東の豫定なり（釜山）

◎荷造改良講演

函館商業會議所會頭遠藤吉平氏は滿鮮視察を終へ歸國の途釜山に立寄りたるが十二日午後一時より釜山商業會議所の請を容れ同所樓上に於て一般荷造に關し一場の講演を試む同氏は夙に荷造改良を唱導し貿易上貢する所少なからず其功に因り四十二年藍綬褒章を下賜せられたる等功績ある實業家なり（釜山）

人事消息

▲古川賢治氏（古川合名會社々長）　十三日夜入京山本旅館へ
▲橘中倭兵衛氏（京都呉服商）　同上浦屋へ
▲黒井千代吉氏（大阪雜貨商員）▲村上文七氏（東京皮革商）▲立松慶次郎氏（同）　同上
▲中島金四郎氏（久原社員）　十三日朝入京同上
▲山口太兵衛氏（實業家）　全州へ旅行中の所十三日夜歸京
▲廣田直三郎氏（京城中學校長）　十三日夜退京

□□□南言北語

露國の秩序は非常に紊亂して居るらしい長期の刑に處せられて居た大賊が赦免に遭うて巡査になつたなどは今の露國では珍とするに足らぬ▲ドン河畔ロストフで勞兵委員會の議長や議員を招いて盜賊會と云ふ世界無比の珍會議が開かれた▲盜賊黨の各方面の代表者は何れも出席して今後改心すると誓つて吾等に自由市民たる權利を與へよと要求した▲彼等の先輩は吾等は公衆の援助がなくば正業に復る事は困難であると力説した▲或者は近來私刑に處する者もあると憤慨演説をやつたものもある▲民兵司令官ラミコフ君は一般人民も盜賊の改心を援助する必要があると演説した▲其の間傍聽人の中に六留入りの財布を盜まれた者があつた▲列席の盜賊は夫れは本職の盜賊が盜んだものではないと抗議した▲結局盜賊仲間で六留丈け寄附金を集めて盜まれた人に返したと云ふ▲革命が如何に露國を低級にしたのか之はほんの一例であるか▲露國を亡すものは獨逸に非ずして露國民也六國を亡したるは六國にして秦に非ず底に露國の愛國者が何れも暗鬪を發して居るのは同情に堪へぬ▲舶跡古海將軍が彩筆に堪能な事は人も知つて居る▲時々雅宴などで興に乘じて老松菊花山水等をものして度々觀者を驚かす▲何時かも本紙に墨痕淋漓たる老松を寄せられた時などは▲密かに之れは代筆だらうと疑問を挿んだ人もあつた程將軍の揮毫は却々堂に入つたものだが▲此頃將軍が之は何うだと示された一詩がある▲『春色空迫無子陋○滿城樹綠○肥○閑窓日永時書嬾○臥看紛々柳絮飛』何うして之れ亦堂に入つて居る▲官邸夜深ふして度々窓を漏るゝの燈光を認めたが此處迄には大分電燈のメートルも上つた事だらうとの評判▲東嶺、掉地長官近日春日の一詩を寄せて曰く▲『春入漢城烟霞生○遊營無事官情穩○戰塵不到西天遠○獨坐閑窓聽雨聲』▲却々好いものだ

大連より啓上

六月九日　通信員

▲滿鐵十年史　滿鐵會社に於ては本年四月一日創立滿十年に相當せしを以て浩瀚なる十年史編纂の計畫あり就中河村調査課長を編纂委員長とし社内各方面に亙りて材料を調査し之を綴るに最も明快なる部門別とし要領を摘記して成べく繁鎖なからしめんとの方針なれど元來滿鐵會社其のものが多方面に渉れる複雜なる組織に付き隨つて其の十年史も簡略には納まり難く大阪一千頁以上のものたるべしと開及び申候、會社に於ては之を印刷して政府及び株主は勿論内外各方面に配布すべく、而も此の書は滿鐵十年史よりも寧ろ滿洲十年史として我が植民地歷史上有力の事業たるべしと存せられ候

▲大連港多忙　從來大連港は冬季結氷最も多忙を極め大豆雜穀豆粕等の輸出は大概秋冬の頃より翌年一二月までに輸出し盡され五六月の交より夏季三箇月間は輸出入共に閑散なるの例に有之候處本年は其の例を破りて五月以降最も多忙を極め六月に入りて尚更劇忙を增し申候、是れ畢竟輸出入の系統及び其の機關が次第に膨脹し且複雜となりて大連は平常數十萬噸の堆貨を貯藏するに堪へ秋冬特産の出廻り期に價格下落の時に急いで賣却するを要せず之を埠頭の保管に託し金利倉敷等を差引くも尚且つ春季價格昂騰の折に賣却する方遙に有利なることを覺知し大手商人筋が一般に持久力を增したるに據るものに御座候勿論昨冬以來海運界の高潮して船腹缺乏せしことも其の一原因には相違無之候へ共今日運賃は益々暴騰し昨冬の二倍にも拘はらず尚且つ輸出旺盛なることも思はゞ必ずしも海運關係のみに據るものに非ず内地の米價騰走して豆粕の價格昂り豆油の米國輸出益々有望にして三井其他巨商の買込旺なるより自然其の原料たる大豆にも影響し昨春以來價格一圓方（三圓に一圓即ち三分の一高）暴騰し輸出は益々好況なる上に内地よりの輸入品は愈々增加して大正五年度は輸出入二百三十六五萬噸なりしもの本年度は少くも三萬百噸以上なるべしとの見込に御座候隨つて輸出入共に事業發展せる故大連港の多忙を來せし譯に御座候

▲演說會運動會　五月の運動シーズンは過ぎたれども尚且つ滿鐵實業軍の野球大會を始め各所の野球等は益々盛んなる模樣に有之殊に本年夏は東京早稻田野球團界並に上海同文書院野球團の來襲ある由にて大連側は一層緊張致居り候、滿鐵は本年も實業軍に敗け意恨遣る方なく某熟練家を社員に聘して專ら野球部の鍛鍊に力め居り候處、其の御蔭にて熟練並に不熟練の傭員數名か社員に登傭せられ大に野球を德と致居るなどの笑話も有之申候、若し夫れ時局の演說會とか佛教青年會の講演會などに至つては盛況を通り越しての喝采に有之、八日夜大連實業俱樂部に於ける時局演說會の如きは辯士も傍聽者も常識外れの熱狂狀態之も亦時勢か産み出せる一の社會的現象かに可有之候、兎に角大連各方面の活氣は一面に於て悅ぶべく一面戒むべきものに可有之と存せられ候、匇々。

難破船四十隻

支那江西省南昌の……十五名……（上海特電）

……に大爆發あ……の負傷者を……

……本航……て倫敦行金物亞鉛穀物莫大……眞田並に雜貨等を積載せるが……のため久しく本邦……

……は時局以來諸工業の勃興海運界の殷賑につき需用著しく增加せるに拘……

……邦に求めんとするに至れ……能力を增進せざる限りその需要は益々困難となり從つて價格も勢ひ騰貴するに至るべしと……

……（内男八七、入五九女七三、六四三）を極め……後滿洲粟及び低廉なる……輸出減少し……

五月下旬來陸路安奉より海路雄基より輸入されたる間島粟は今日迄既に數千石に達し清會沿線の勞働者の需用に供し又は更に清津以南沿岸の各……

京城本町警察署許可
大島紬景品付月賦販賣廣告
本會は大島紬景品付月賦販賣會と稱し會員一百名を以て一組と定め警察官吏立會の上公平なる抽籤を執行し二十圓に相當する景品を提供するものとす詳細は申込次第規約書進呈す
大島物産商會京城旭町出張所
東京旅館内（電話二五九番）

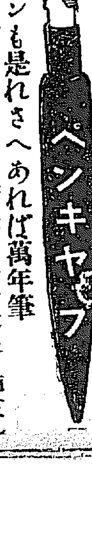
自動車學校
本校は東洋唯一の認可運轉手及修繕技作技師養成▲普通學夜學及校外生の三科共年齢不問採用半年卒業規則附與す自動車界は内外共益々多事反切の近途也▲東京市京橋區南紺屋町

文學士寺田精一先生監修
七月號　トモダチ
美しい繪と面白い教育お伽噺が滿載　特別大懸賞あり
（手工附録）タテ、クミ、パノラマ、ユフスズミ
全國書店にあり
一冊十二錢・六冊税共七十錢税五厘・十二冊税共一圓卅錢
東京麹町富士見町　二葉社　振替東京三一三六三　電話番町四〇五八

▲船遊の好季節
遊船　貸船
▲御一報次第參上御相談可申上候
漢江遊船俱樂部
龍山元町河岸　電話一〇番

藝術座專屬男女優數十名
松井須磨子一行出演
當る自六月十三日至十九日（日延なし）
初二日　藝題
喜劇　中村吉藏作　新歸朝者　一幕
悲劇　同人作　お葉　三幕
所作事　三面子守　後玉兎　一幕
入場料　▲特等一圓卅錢　▲一等一圓　▲二等七十錢　▲三等三十錢
毎日午後正六時開演
京城　壽座

世界的大發明は自慢に非ず
本品は各種の金屬を以て製し永久使用に堪ゆる嶄新奇拔な國益用品



如何なるペンも是れさへあれば萬年筆にも烏口にも代用せられ（ペンの保を能くしどのペンにも適合す）廉價で便利な專賣特許ペンキャップ萬年軸付特に金十五錢送料二錢
地方特約店希望者は申込を乞ふ
製造發賣元東京市本郷區湯島六丁目十七　TS商會　電話下谷六九一六　振替口座二九六五二

印刷インキ　製造販賣
櫻井商店
初田活版所インキ部分離
京城明治町二丁目　フランス敎會西隣

移轉廣告
今般弊院儀醫務擴張の爲め左記の處に移轉仕候
京城府明治町二丁目三十二番地（元朝鮮實業會社支店跡）
須古醫院
電話二一〇二番

●火薬庫爆發

[illegible]浦にて船舶の爆破各二十隻を出せり(大阪特電)

[illegible]大[illegible]より　六月十五日

▲英、禁ず[illegible]　歐洲航路に發程すべき郵船徳山丸は[illegible]部解禁と共に今後は同地向貨物漸増の傾向を示しつゝありと

▲本邦石炭趨勢　本邦石炭界[illegible]乏しく需用增加に伴はざるの憾あり南洋方面及び海峡植民地の石炭供給は從來主として亞米利加より仰ぎ來[illegible]採炭不引合に[illegible]て需給合せ居るも運賃次第にては何れ[illegible]方面へも輸出さるゝに至るべきを以て今後我石炭界が其の採炭

▲大阪府工場數　大阪府廳の調査にかゝる四月末現在府下各種工場及び職工數は工場總數一萬三千九百八十二職工總數十六萬千五百二名で一萬三千六百二十九名を增加せ[illegible](大阪支局)

●間島粟輸入激增　間島粟の北鮮輸入は大正一二年頃一時旺盛[illegible]前の粟[illegible]は漸く米食に慣れたる地方鮮人を[illegible]つて再び粟食に復歸するの狀態に[illegible]しめ滿洲粟の北鮮輸入亦山東地方の飢饉の爲め捗々しからざるを以て間島粟の輸入頗る好景氣にて[illegible]は一石十二圓内外にして米價の半額に過ぎざれば米價の下落せざる限り小常用益々旺盛なるべく昨秋來主産殺たる粟の處分に苦める間島地方に俄に活氣を生ずるに至れり(清津)

●近侍を召して　種々のお物語

御著京第二日の李王殿下

◇◆◇十四日は愈々御參内◇◆◇

霞ケ關離宮に長途の御旅行の御疲労を一夜休められし李王殿下には十三日は午前

♣五時と云ふに御目醒　あり閔長官尹侯爵等を召して御元氣に種々の御物語あり朝の御食事など常より御進みあり特命檢閲使として關西地方に御旅行中の閑院大將宮千葉縣下へ御出張中の北白川大尉宮殿下は李王殿下と御相識の間柄とて御安著を祝する旨の電報を寄せ給ひ又昌德宮に

♣御留守居の王妃殿下　よりも御安著お祝ひの電報を齎らせらる此の日午前中伺候の人々は松川衛戍總督仁田原近衛師團長本郷第一師團長其他將校等にて十四日は午前十時半離宮御出門尹贊侍陪乘儀仗馬車にて宮城正門より參内

♣鳳凰の間にて　聖上陛下に拜謁獻上品捧呈次で桐の間にて皇后陛下に拜謁賢所に御參拜の上正午御退出午後二時再び御出門高輪御所に東宮殿下を御訪問相成る可き豫定なり(東京特電)

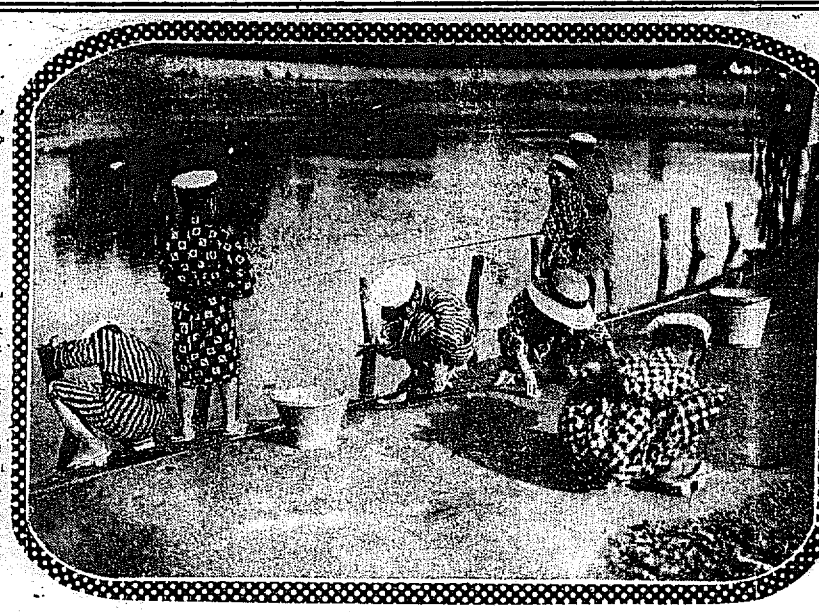
□東京府の獻上品

東京府より李王殿下へ獻上の品々は孰れも精巧華麗を極め花瓶は全部銀製にして花鳥の彫刻を爲せる尺二の置物なり又卓子掛は五尺四方の繡地に百合其他日本古來の草花を織込める繪友禪にして特に井上東京府知事の考案に成れるものなるが之を桐箱に納め十四日同府知事より獻上の筈(東京特電)

●セブランス醫學

專門校卒業式

南大門外の私立セブランス醫學校は這回いよ〳〵專門學校となつた、即ち朝鮮教育令による立派な鮮人教育の專門學校に昇つた、十三日は午後三時より芽出度き學校の開校式、來賓には山縣政務總監、松永道長官、渡邊高等法院長、關屋局長、芳賀軍醫總監、久水課長、佐藤軍醫監、ハリス博士をはじめ外人側及び鮮人側の出席者多數であつた、式は先づボブラ樹立の講堂で開かれ日米兩國々旗の前の壇上には紅白の花を飾りたるあたり校長エビソン氏の挨拶によつて始まつた、次いで一同君が代の唱歌を合唱し校長の演説に次いで山縣政務總監の御諭あり猶ほ松永、芳賀兩氏の祝辭元醫師の祝辭等も朗讀され終りにハリス博士の日英兩國語による熱誠なる祝辭があつた、閉會は午後四時、來賓一同は夫より境内のセブランス病院を巡覽して歸つた



圖から梅雨◦◦◦◦◦◦◦◦に大人來ぬ池の邊りかな(龍山にて)

●一部落の生活難　北漢山麓の洪水涸る

高陽郡崇仁面城北里は北漢山下の七十五戸許りなる山谿の一部落なるが住民は從來京城の麻及び木綿商より洗ひ晒しを請負ひ僅かに北漢山より流るゝ小谿流を利用し生業をつづけ居りしが近來の旱魃に引續き降雨なき爲め命の綱ともすべき谷川の水全く涸れ盡し二三日前より全部落民は休業の已むなきに至り目下草鞋など作りて辛くも生計の途を講じ居れる模樣にて該部落所在の共同井戸の如きも井水の涸渇したるもの二十九箇所に達し居れりと

□光瑩伯獻上品

大谷光瑩伯は十三日霞ケ關離宮に伺候し李王殿下に箱入神代杉緣四枚折屏風一双を獻上したり(東京特電)

●東山丸出帆後　消息無し

松昌洋行汽船東山丸は五月七日ボストン出帆後消息なく船主及び關係者は心配し居れり(大阪特電)

●恐がられる　張勳部下、

迷惑する支那興行人

北京に入れる張勳氏部下の兵士は日本藝人が手品を興行し居れる劇場に入りて入場料を拂ふ事を肯んせず依つて興行主(日本人)は正當の手續を履みて北京巡警署長に交渉する處あり同署長は直ちに之を張勳軍將校に移牒せるに將校は直ちに入場料全部を支拂ひたるが其際興行主に向ひて今後張勳氏部下の兵卒には一時無料入場を取り計はれ度く入場料は後刻拙者支拂ふ可しと申し越せり而して這は日本人の興行なる爲めにして並通支那人の興行に對しては無料入場を敢てするのみならず張勳配下の

●昂る、昂る、大阪の白米

一升が三十錢にも=月給取の生活難

大阪の白米小賣相場は騰て一升に付三十錢以上にも暴騰せん氣配なるが原因は朝鮮米が近來大阪に入津せずして露國に輸出さるゝと共に内地米も亦英佛に供給さるゝのみならず一方農家が米價の騰貴を見越して賣惜みを爲し從つて成金連の買占めを誘致したるに由るものにして俸給生活を營む者は諸物價の騰貴に連れて益々生活難を訴へつゝあり(大阪特電)

●島流しに處せられた　少年大賊

百餘箇所を襲ふて二萬餘圓を窃取す

自稱朝鮮京城本町二丁目石川金次郎四男石川富雄(二)と云ふは豫て東京市中を徘徊し不良少年の群れに投じ感化院に收容されたるも改悛の狀なきより小笠原の母島へ遠流されたることあり内地に歸りたさに又も同島にて窃盗を働きたる爲め希望通り東京巣鴨監獄に收監さるゝ身となり昨年十一月出獄後枕探しとなり本年一月には大阪にて惡事を働き九條署に捕はれたるが隙を見て神戸に走り大町桂月氏其他種々の僞名にて各地を荒し廻り九州福岡にても窃盗を働きて福岡署に捕はれたるが又も脱走して其後山口、廣島、岡山、神戸、大阪等の各地の旅館を專門に荒し先月四日横濱市本町六丁目上州屋旅館に東京日本橋區濱町三の一入會貿易商井上國雄と僞名して投宿し合客なる名古屋市雜貨商多田重次郎の携帶せる株券雜品等(價格七千圓餘)のものを窃取したるを同地戸部署の手に逮捕され取調べの結果合計百餘箇所の旅館にて働きたる金品の總價格は二萬圓以上に達する由にて犯行現場には常に自分の行爲なる旨印を殘して逃走したる曲者なりといふ(東京)

●飛降りて負傷

十二日午後八時四十分頃京城電氣會社の義州通行白七號電車が明月館前を進行中通義洞居住早川みき(三二)が飛降りをなし後頭部外一箇所に治療二週間を要する打撲傷を負ひ種路一丁目京城病院にて應急手當を受く

▲同日午後八時五十分龍山行百八號電車が南大門通五丁目笑福旅館前を進行中平壤館後里朴麟昌が飛降りをなし顏面部に輕傷を負ひ附近の醫院にて應急手當を受けたり

●狂犬二頭

京城南大門通五丁目山口みつ方飼犬は十二日獸醫診斷の結果狂犬と判明せり又同日本町一丁目を徘徊中なる怪しき犬を捕へ診斷せしに之れも狂犬と分り何れも即日撲殺せり

京日愛讀者の特權

東京大相撲全鮮各地巡業中

東京大相撲太刀山、伊勢ケ濱一行の鮮滿巡業團は愈々來る十五日釜山乘込翌十六日を初日興行、京城は七月上旬の豫定となつて居ります一行中には黑瀨や土州の如き老練な人氣相撲や、敷島、紅葉川の如き新進氣鋭の力士もあり、嘸や全鮮各地好角家の血を湧さす事と思ひます。扨て我社は今次の巡業を壯なりとし。例に依りて一行の景氣を添ふる爲め京城日報愛讀者各位との間に立ちて。種々興味と利便とを兼ねた問題を提供致す事となりました。我社は既に巡業先乘年寄熊ケ谷と協定し大相撲の朝鮮巡業地

釜山　馬山　大邱　金泉　大田

群山　京城　仁川　平壤　新義州

の各所に於て興行中其期間通用の

京城日報　讀者木戸大割引

券を其都度本紙に刷り込み切返使用せらるゝ樣にして提供致します即ち木戸錢は三十錢の定額を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來るのです更に京城興行中は本社地方巡業中は各地の重なる支局にて

幕内お好み相撲―飛付五人抜

など好角愛讀者諸君の爲め特に出さしむる事とし角道の興隆上大々的氣勢を添ゆる筈になつて居ります

●宗信丸の遭難

朝鮮郵船汽船宗信丸は去る九日午前零時三十分龍湖島前淺瀨に乘上げ折柄干潮なるを以て引下し不可能なるより滿潮時を待ちつゝありしが十一日午後四時浮揚せり原因は不明なるも夜間航路を誤りたるものなるべく乘客、船員、船體等異狀なしと

●猩紅熱

京城櫻井町二丁目二百四十四土井さよ子(五)は十二日猩紅熱と診斷總督府醫院へ入院せり

●畜犬の繫留を怠りて科料に處せらる

京城本町警察署管内にては先頃より畜犬の繫留方を飼主に示達する所ありしに尚放置する向少からず各派出所の警官は未繫留の畜犬を發見の際飼主を取調べの上告發し飼主は警察署に召喚の上科料に即決せらるゝ者一日に二三名以上ある由なるが處分を受けても尚等閑に附する者ある模樣なるより頃日尚重ねて其の繫留方を嚴達すべしと

●墮落者捕はる

佐賀縣佐賀市長瀨町平方吉次(三六)は伯父なる同町の金物商某方に見習奉公中諸富の貸座敷新玉樓抱娼妓玉千代こと宮崎ふさゑ(三)と馴染みたる末去る九日叔父の在金四百十圓を窃取し玉千代を落籍して同夜門司に出でたるより釜山署に取押方を依賴したるが十日朝の連絡船にて釜山に上陸せし所を兩名共押へられ身柄の引取方を照會中なりと(釜山)

●鎌で斬りつく

全北益山郡北一面永登里農夫郭敬西(一八)は八日午後九時頃同里蘇孝龍の猪視山林より松枝を盗伐し其の歸途を同人より發見されたる際敬西は孝龍の胸倉を亂打したるより孝龍が同人を取押へんとしたるに鋭利なる鎌にて孝龍に斬りつけ右手の掌に深き動脈に達する重傷を負はせたるより敬西は裡里分隊に引致、下嚴重取調べ中なるが孝龍は公醫の應急手當を受けしが却々の重傷なりと(裡里)

☘京城の不良少年(五)

恐るべき惡感化

以上の如き不良少年の取締りに就ては警察官憲でも餘程力を入れて居るやうだが、從來に於ても其の犯罪者は法に照らして

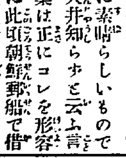
△相當の處分　を行つてゐるさうだが、刑罰も短期では其の効果が甚だ薄弱で假りに二三箇月位入獄服役してゐても、滿期釋放されゝば直ぐに又宜からぬ事を働き而して見附けられては又捕はれると言ふ循環を繰返す者が多く、併も回數を重ねる毎に手段や方法が巧妙老熟に成つて仕末にゆかぬ曲者となるさうである、是は第一京城に

△少年を收容　して働かせる自活の道を立てしむる工場や職業の尠いことも主な原因をなしてゐやうが、一つには一回でも監房に繫がれた少年は成年囚と同房である爲め夫等の者から感化を受け一回は一回毎に不良試驗に及第して行くやうなものである、要は須く成年囚と別個の特別收容監房を建設し少年囚ばかりを收容して充分なる

△諭告と嚴訓　とを與へる機關を要望することになる、一面受刑能力のない十四歳未滿の盗兒に對しては警察官署で便宜に懲戒の方法を講じて居るとの事であるが、其の大多數は保護者の無い浮浪少年であるといふ、而して斯うした營養不良の心身幼弱な鮮童に與ふべき職業もないから殊に持て餘されることになつてゐる目下の所京城に不良少年の

△增加を防止　する手段一方法としては先づ盗癖ありと認むべき者に對して其の機會を與へぬこと、他の良少年に感化を及ぼさぬやうに努めること、放縱に流れてゐる不良少年の生活を強制的にでも秩序ある勞働に馴致することが緊要であるが斯うしたやうな機關が今日迄京城には更に出來てゐない爲め

△只論ずる迄　に止まり實行すべき方策の途が附いてゐない、換言すれば被害者に於て取られ損となる形になつてゐるから、警察官憲でも徒に厄介者としてゐるといふ、要は即ち是等巷の塵とも見るべき不良兒に同情して彼等を救濟すべき實行方に就いて慈善的義俠家の奮起を俟つの外はないことになる(完)



傭船料の騰る事は實に素晴らしいもので天井知らずと云ふ言葉は正にコレを形容したものだ▲現に此頃朝鮮郵船で借りた柳川丸(六百餘噸)は月一萬二千五百圓の契約だが其後一月足らずの間に又騰つて今日では一萬五千圓でなくちや借れぬさうだ▲此の船の平時傭船料は何程だつたかと云ふに吉田專務が元山で廻漕業をやつてゐた時月二千二百圓に借りてゐた事がある乃ち今日では一寸七倍と云ふ所だ▲此頃朝鮮各地を視察して滿洲に赴いた英國大使館附武官ソマビールの中佐はソマトーゼとビールをつき交せた名丈け稀れに見る大兵肥滿其の身長は六尺恰度ださうな▲中佐は日本に八年もゐる、大閤時代から今日に至つてゐるが其の夫人は露語佛語に堪能で先年歸英後今は陸軍省に勤めてゐると云ふ

誰にもワカル

健康の標準は

▲常に腹工合ヨク▲毎日食が進んで
▲通じヨク▲少し位の事で下痢腹痛
を起さゞるにあり

前宮内省侍醫柏村博士創製

腸胃強壯藥ヘルプは

腸消化を助け衰弱缺損する腸胃の各作用を恢復する藥故平素小量宛を服用すれば腸胃は健全、身體強壯となる若し夫れ急性の

下痢腹痛ならば

本劑三四錠宛を用ゆれば數回にして効驗著しく恐るべき結果を免れ得べし

消化と殺菌の　下痢止腸胃藥

下痢の原因

が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定に又其注意を要す
●然るに從來の賣藥は單純の收斂劑にて消化と殺菌の用意ある物なし
●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也

ヘルプ効能
●食過●食傷●消化不良●時候あたり●水あたり●寢冷等より起る
▲下痢腹痛▲吐瀉▲澁腹▲腸瓦斯を止め
▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

定價　貳拾錢、參拾錢　徳用　旅行用ポケット形五拾錢　(壹圓　貳圓五拾錢)

製藥發賣元　東京日本橋本銀町　振替東京八六四番　津村敬天堂

●取次は全國到る所の藥店にあり

花筐（二一五）

松田竹の島人作

京子は打萎れつゝ、
『以前はあんなぢやなかつたんですがね』
『人間と云ふものは、金が出來て、何にも不自由がなく爲ると、安逸に流れて淫樂に耽るやうに爲るもんですからねえ。今に爲つて考へると、僕は貴女が怎うも爲すつたら、市野君が悔い改めるとばかし思つてゐたのですが、貴女と云ふ邪魔者なしに爲て遣つて、其遊蕩を强めたやうな形狀に爲つて了つたのですからねえ。ところで貴女が、市野君のやうな情の薄い夫を御持ちに爲つてゐらつしやるよりも、これを機會に、斷然と御分れに爲つた方が、貴女の將來の爲めに可いと思はれますから、貴女の家出は、其意味に於いて、寧ろ僥倖であつたのですね』
田淵は、京子の心を窺いて見るやうに言ふて、瞥視と流眄に橫顔を見ながら、其擧動を窺つた。
『御至當な御言葉ですが、父が市野を見込んで、妾を女合せたのですから、縱令市野に、妾を妻としての愛情がないにせよ、直ぐと分れると云ふ譯にも參らんかと思ひますが』
『そりや貴女が、未だ市野君に未練がおありに爲るのと、花枝さんの愛に惹かれて御在でに爲るからですが、夫たる市野君が、貴女を厭み嫌ふて薄情な所爲を爲るし、花枝さんが、生母として貴女を懷しがつて居られるのですから、貴女の方から熱い情愛を注がれても、所謂燒石に水で、何んの効もないのです、此の場合、一層一と思ひに思ひ切られた方が、貴女の將來の爲めに御得策ですがね』
『そりや然うでせうけれど』と京子は、田淵の勸告に同意はするものゝ、其心の底では、市野と分れるといふ決斷は付いてゐなかつた。
此時、漁師らしい二人の壯者が、櫓を揩ぎながら、濱邊へ來た。二人の壯者は、美しい京子と、ぞろりと爲た服裝の田淵とが、草の上に並んで、何にか蕭然と喋してゐるのを見ると、嫉妬心からか、嘲るやうに笑つて
『夫婦だんべか？。』
『然うだらうよ。』
『安くねえだよ。』と互に言ふたのが、京子と田淵の耳へ入つた。
京子は、ハッと思つて、心臟の皷動を覺へたが、田淵は微笑みながら
『彼奴等、あんなことを言つて往きますよ。貴女と僕を、夫婦かそれと思つたのですね』
『厭やな人達ですわねえ』と京子は往き過ぎた壯者二人の蹤を見遣る。
『併し、怎うして貴女と並んで、親密に語り合つてゐるのですから、彼奴等でなくつても、誰れしも夫婦か何んかと思ふでせう』
田淵が、深い意味ありさうに言ふて、凝乎と京子の顔を見詰めたが、京子は單純な考慮から、ほんの世辭の戯談とのみ思つたのである。
『夫婦だなんて見られるのは、御互に困りますわねえ』
『然う見られたつて可いぢやありませんか。』
『でも妾は、家出こそ致して居りますが、市野といふ夫があるのですもの。』
『其市野君は、貴女を捨てゝゐるのぢやありませんか。一つよツく考慮へて御覽なさい。』
正午近く爲るに連れ、風少し起つて山には松の響きが聞こゑ、海には波が立ち初めて、寄せては碎くる女浪男浪が白かつた。

乳母至急入用
京城本町三丁目總監部通
電話 三三四七 星堂醫院

一日一句

世をすてゝ鶴と行春を惜む　魚骨
吹殼手のまゝに長き牡丹　黃丘
堪忍を鉢の木の芽に默しけり　柴山子
皷打つ家あり若葉案る街　白紅
躊躇んでもう來し我に灯す暗　瀬村

新刊紹介

▲少年俱樂部（七月號）　江見水蔭の『突中旅猫』を卷頭に森少將の『石大尉の最期』佐藤中將の『軍神の手袋』淺田大將の『恨めしき指の痕』等は快哉を叫ばしめ大川白雨氏の『小妲信四郎』大倉桃郎氏の『故郷いづこ』弓場要雄氏の『落城の後』青柳白嶺氏の『故郷いづこ』…氏の『店番』何れも面白く有宮砂邱氏の『靈安寺の鐘』大刀美氏の『俊傅の珊瑚珠』福田吉識氏の『アフイヤン』話江茸水氏の『淸流？暗流？』大河內翠山氏の『加生十兵衞』は皆大家苦心の讀物にて白鳥天葉氏の『眼玉の行衞』石川博士の『昆虫の話題』大類博士の『水の都ヴェニス』等亦興味多く尙『少年演說』の懸賞募集あり（十六錢東京市本鄕區駒込阪下町四八大日本雄辯會）
▲實業之日本（六月號）　創業二十周年の記念として全國小學校長十名を渡米見學せしむるの一大快擧は愈文部省の人選により派遣人名決定本號に發表せり又本誌が率先提議せし『實業補習學校へ臨牟な仰ぐの議』は今や各方面に一大反響を與へ諸名士の交々新提議に接するあり其の他『甘藷澱粉の製造』は農家の好副業にして『馬來半島の護謨栽培業』は海外雄飛家の好指針たるべく浮田博士の『今は商人の魂』新渡戶博士『海外發展教育』増田社長の『商人道の眞髓』等燦爛たる文字あり（十三錢東京々橋共社）
▲俳句世界（八月一日創刊號發行）月刊俳句雜誌にして鳴雪、小波、乙字、碧梧、亞浪、蝶衣等を顧問とせり毎日下題賞俳句を募集しつゝあるが入社希望者は東京牛込區中込次郞規則書を送附すべしと（十八錢は京牛込西五軒町三五共社）
▲大公論（六月號）　下田歌子女子との快氣焰不眞面目極まる世の中、青年會員を罵倒す、株介の人生觀等（十錢愛知縣中島郡一宮町剣田三七共社）
▲警務彙報（六月號）月一回の發行に改め誌面を改善して職友の機關雜誌たらん事を期せり本號には民籍事務取扱に關する件、朝鮮人辨部の考試口述試驗其他を收む（十五錢警務總監部）
▲西洋畫報（六月號）　泰西諸口の新知識趣味人情を紹介する點に於て異彩ある本誌は六月號に於てノオスクリフ卿、戰後の美術、男を求めて、ニイチエ論、話の種なざいふ讀物や初めて數編の興多き小說、艷麗奇拔な挿繪數十葉を滿載せり（二十八錢東京麴町區富士見町四の十一共社）
▲カット畫報（五月號）（十錢東京々橋木挽町二の一二共社）
▲臺灣教育（六月號）（二十錢臺灣總督府學務部內共會）
▲講談雜誌の倍大增刊　博文館創業三十年記念出版の一として講談雜誌の增刊『武士と町人』が出た、一流講釋師の讀物なる五十頁乃至百頁に亘る長講ばかりも六篇、外に新講談落語各數篇を載せ、稿彩色の口繪四枚、本文四百八十頁の大冊にて定價僅に二十四錢その低廉無比なること出版界の奇蹟として驚異せられてゐる

物品拂下
第三一號　銅拔屑外壹九點
第三二號　翡翠製品壹、參五九個
右大正六年六月拾五日當關ニ於テ入札賣却ス
大正六年六月一日　仁川稅關

鳥取縣人諸君に告ぐ
吾縣實業視察團來る二十二日來京に付會員名簿調製致度至急住所氏名を左記へ御通報を乞ふ
京城黃金町三丁目　鳥取縣人會　堀尾潔

京日案內
普通一回前金　番外一回前金（假名一圓五十錢）
▲中込後中途掲載中止の節は前金返戻せず
▲六回以上の御申込は特に定割
▲御照會の節は返信料御付加あらざれば回答せず
▲御照會は必ず数字の番號を記入を乞ふ

普通
▲安全第一　萬年筆販賣と修繕
信用絕大　京城本町　ウッボヤ書店　124
◉貸家　黃金町一丁目三井物產附近
日本建物二階家四數五、湯殿水道電燈附　走來町中村電話一九七七番　142
◉事務員入用　內地人廿五歲迄保證人を要す　電話二一九七　青木堂前　森代書事務所　141
◉代診生及看護婦　至急募集履歷書送附の事　平壤壽町　石川病院　138

番外
◉配達人入用　希望者は本人來談あれ　黃金町二丁目　京城新聞社　143
種痘外衞生試驗用動物販賣　價格表申込次第送附す　京城太平通二丁目　衞生社動物部　134
◉礦物定量分析　大平町二丁目電話長一三四四番　朝鮮公論社左横小路　坂元分析所　112
牛乳配達人募集　但三名年齡十六七歲より二十歲まで　京城船橋町　平山牧場牛乳販賣部　120

最新刊

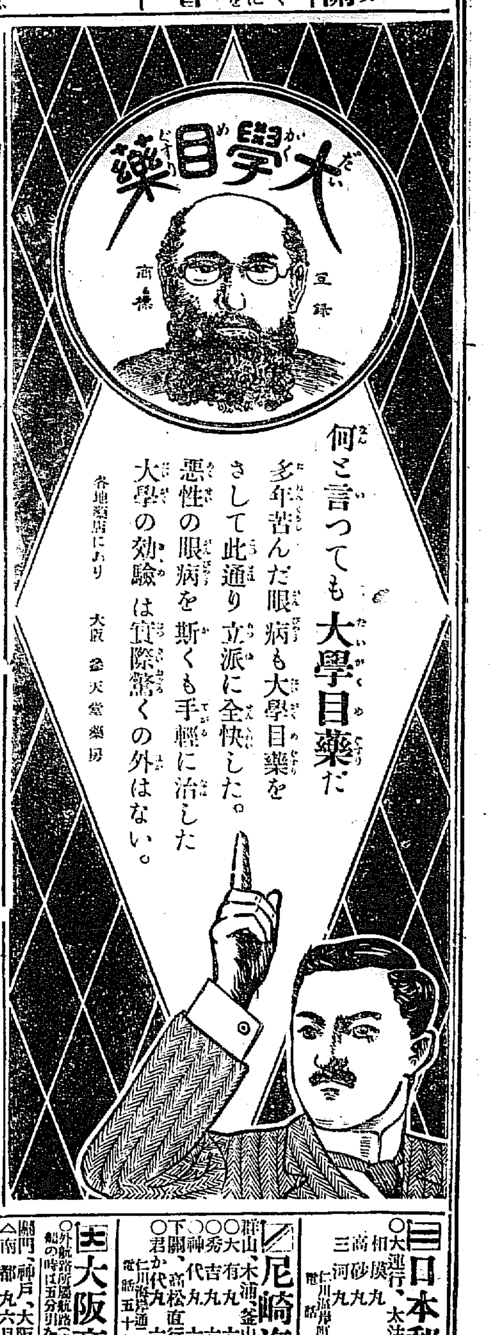
書名	著者	定價
◉實驗化學工業（三冊）	文雄	豫約特價一五、〇〇
◉佛教人生觀	南條	一、八〇
◉戰後の事業と會計の內容		一、五〇
◉現代の藝術	上田敏	一、三〇
◉波上の日本	佐藤鐵太郞	一、〇〇
◉名文軌範	大町桂月	九〇
◉三角方程式	林鶴一	一、五〇
◉千歲一遇	矢野常太郞	七五
大河平隆光著		定價一、七〇

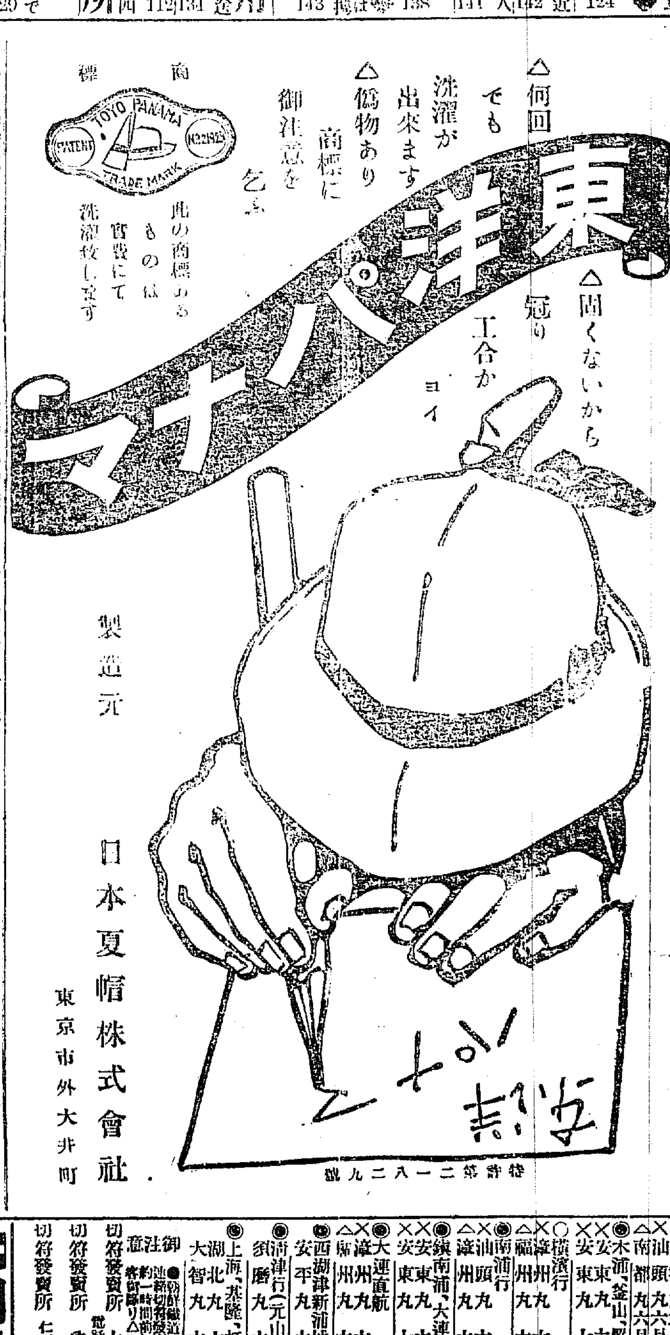
支那の眞相

書名	著者	定價
◉新譯韓非子	野中元三郞	九〇
◉文學論	夏目漱石	一、七〇
◉繁昌する商店	非關十二郞	八〇
◉三人の弟子	里見弴	九〇
◉入學試驗其儘問題解釋	松浦政泰	九〇
◉あの山越し海越し	奥野多見男	六五
◉受驗必携朝鮮公文解釋	安達大壽計	四〇
◉新式園藝寶典	鈴木爲次郞	六〇
◉基本證習謡體かな帳	島村不老	四〇

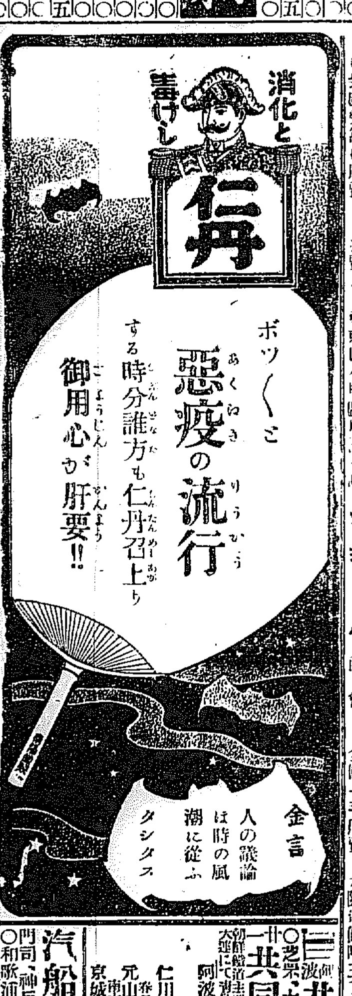
大阪屋號書店
京城本町一丁目　電話六六三六番振替京城二五三番

大口歡迎　質
京城黃金町長橋町入　電話二九一六番
商品擔保便利取扱　田村質店





淋病新藥 ツヨール
下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士驗定
笹川醫學博士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的內服治淋劑と確定せる
◉到處藥舖に販賣
發賣元　東京日本橋區川瀨石町　ツヨール商會
全國一手販賣　大阪道修町三丁目　田邊五兵衞
▲本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず
◉膀胱カタル尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、淸濁其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す。
三十粒入五十五錢、五十粒入九十錢
百粒入一圓六十錢
▲說明書無料贈呈す



皮膚病藥
ホシセプチン
定價金十錢
△いんきん、たむし、しつ
△ひぜん、毛ジラミ
△しらくも
東京市麴町三 星製藥株式會社
各地特約店及藥店にあり
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

◉阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
共同丸　六月十五日午後入港 廿一日 六月十七日前十時出帆
朝鮮沿岸主要港ニ寄港大連にて滿鐵及び各汽船と連絡す
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）仁川代理店　野口商會
各日町（電話二四四七番）元山代理店　田口回漕部
東大門（電話二六八、二〇七）京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
○和歌浦丸　六月二十日後五時出帆
○立神丸　七月一日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○立神丸　六月十九日後四時出帆
○和歌浦丸　六月三十日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月一日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　六月廿四日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　六月十三日後十一時
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　六月十七日後四時出帆
○秀吉丸　六月十九日後四時出帆
○神代丸　六月廿四日後四時出帆
○下關、高松直行
君が代丸　六月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路（淸津航路を除く）は出帆の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
關門、神戶、大阪行
△南都丸　六月十三日
×油頭丸　六月十七日　後二時出帆
△南都丸　六月廿六日
◉木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×安東丸　六月廿五日　後二時出帆
×安東丸　七月十三日
○橫濱行
×漳州丸　六月十八日　後二時出帆
△福州丸　六月廿四日
◉南浦行
×油頭丸　六月十四日　正午出帆
△漳州丸　六月十五日
◉鎭南浦、大連行
×安東丸　六月二十日　後二時出帆
×安東丸　七月八日
◉大連直航
×漳州丸　六月　日　正午出帆
△福州丸　六月　日
◉西湖津新浦城津淸津行（元山出帆）
安平丸　六月十六日後十二時出
◉淸津行（元山出帆）
須磨丸　六月廿四日後十二時出
◉上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　六月二十日前六時出帆
大智丸　六月廿七日後四時出帆
御注意
●朝鮮鐵道及び南滿州鐵道會社と船車の連絡切符發賣仕候●御乘船客は本船出帆約一時間前無賃送迎可致候●×印は一般客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番、二二〇番、五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開興旅館　電話二六一番

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番二三番
鐵道會社及社外船と商船連絡運送の便あり詳細は支店、出張所、代理店特客取扱店に御照會
京城南大門驛前　京城特客取次店　松原運送店（電話長一七〇番）
門司より釜山各港寄港雄基間航路
○江原丸　六月廿二日
○京畿丸　六月十三日
○黃海丸　六月十八日
○咸鏡丸　六月廿八日　釜山發
元山より各港經由雄基行
○穩城丸　六月十八日
○昌平丸　六月　日
○鏡城丸　六月廿四日　元山發
東海岸寄港長箭行
○昌平丸　六月　日　元山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○敦德丸　六月廿一日　釜山發
長生浦方魚津寄港
○江陵丸
○襄陽丸　每日　釜山發浦項發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
○三浦丸　六月十七日　釜山發
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
○海州丸
○統營丸
○巨濟丸
○慶寶丸　每日　釜山發
城津淸津雄基寄港浦潮又は敦賀行
○平壤丸　六月廿二日　元山發
各港經由麗水行釜山行に接續
○順天丸　三日目每ニ　木浦發
各港經由濟州島行西廻
○慶興丸　六月十六日　木浦發
南鮮多島海列島行東廻
○慶興丸　六月廿二日　木浦發
各港經由濟州島行月三回
○公州丸　六月十七日　木浦發
各港經由木浦行
○麗水丸　六月廿二日
○智州丸　六月十八日　仁川發
海州他各港經由鎭南浦行
○宗信丸　六月廿二日　仁川發
江華島、喬桐島、海州行
○全州丸
○南陽丸　每日午前　仁川發

商況

大阪株式特電

鐘淵紡績	二六八、四〇
同新株	二五七、〇〇
東洋製糖	一八三、〇〇
大阪商船	二二〇、九〇
日本郵船	二六五、五〇

下關期米特電

六十九錢　△先限寄附二十二圓七十錢

▲十三日後場　△兵庫後寄二十二圓四十錢東京二十一圓七十錢大阪前止二十二圓九十一錢後寄二十二圓九十錢…安入電に…（以下判讀困難）

△同店の賣……